愛國婦人會機關

愛國婦人會の目的は軍人遺族及び癈兵を救護するにあり

愛國婦人

毎月五日二十日發行

一部金參錢一ケ月金六錢半年分金參拾六錢全國無郵送料

廣告料一行六拾錢

本誌全部轉載禁

發行所 愛國婦人發行所 東京麴町區(千ケ淵公園)

編輯兼發行人 山澤俊夫

印刷人 手島益雄

社說

◎簡單

無事優長の封建時代は知らず、文明多忙の今日は、何事も手取早く簡單に運び、風袋を減じて正味を多せざるべからず、熟ら婦人の言動を見るに、兎角長々と無駄多く、十分で濟むことを、あゝのこうのと廻りくどく、一時間も二時間も掛りて、用事仲々に捗取らず、午砲の響きに驚きて、何れまたと玄關まで出て、此所にて凡そ十五分はまた無駄を言ひて、忙がはしげに立ち去るが常なり。來る人もそれなら、往くときもそれにて、互に手間の潰し合ひ時間の立て合ひをして、もうお正月が來たか盆が來たかと、騷ぎ廻つて居るなり。それで婦人の仕事は捗取らず、會でも何でも催しは大袈裟なれど、正味は至つて少きなり。また語にも言葉多きは品少しとあり、譬へば水を混ぜたる酒の如し、何の薫りなく味もなし、簡單は蒸溜せる酒精に比すべし、舌を刺されは止まず。寶石は小く、死は大なり。空氣も壓搾すれば火藥の力を有す。一山百文に碌なものなく、安價い言葉は貴き思想を宿さず、簡單は品格なり、[illegible]なり、餘計な事を言ふ勿れ、何處かに屑の出るものなり、手紙にても其通り、婦人の手紙ほど世に長くどきものはなし、氣候の挨拶、御無沙汰の申譯け、畏り入つたの相濟まぬのと、御互て五分々々のとを丁寧に繰り返し繰り返しての詫び言、十分の九がそれにて、後の一分が肝腎の用事なり。電報を書く氣で手紙は書くべし、電報には金といふ罰恐ろしきが故に短き上にも短くし消した上にも消して、それで用事は立派に述べられるなり、一間の手紙が一尺に書けぬ答なし、論より證據書いて見るべし。賢き話に無駄なく、醉人の痴言は長きに極れり、紙の屑より時の屑、よく時間を大切にし、日常の言語應對を始め、すべての用事を簡單にして、正味の生活をなさゞるべからず。それの出來ざる者は文明の人にあらず、世界の一等國の民などゝは飛んでもなきことゝ心得べし。

◎謙遜

謙遜は婦人の美德なりといへり、尤ものことなれども、それも度合ものにて、餘り謙遜なるは、如何に婦人にても飽かず口惜しきものなり。謙遜は外形の修飾にて、內は常に盈ゝが如き活力に充ち滿ちて、何か仕事あらば、當つて見たし、無ければ作り出しても遣つて見たしといふ勇往邁進の氣象なかるべからず、これだけの元氣を藏しての謙遜なるが故に、謙遜が活きて來るなり、元氣なき謙遜は淋しく張合ひなく陰氣にて火の消へたるが如し。遠慮は無沙汰ともいへり、餘り遠慮過ぎるが故に、手數がかゝりて、詰り物事が簡單に行かぬなり。抱いた子が他人を見て泣き出すが如く、大人にも人見知りありて、會などに出て無暗に尻込むは、婦人とて餘り體裁好きものにあらず、折角の饗應に出した馳走は食べるか禮なり、言ふべき時には憶せず言ふべし、唯何となくそこに居りて煮へたか煮へぬか分らぬやうなるが謙遜といふものにあらず、過ぎたるは尙ほ及ばざるが如し、克く事に當りて其宜しきを得るが、淑女の淑女たる所以なりといふべし。

◎人に强ゆべし

謙遜も謙遜なれど、人はまた己れの人格を他人に强ゆるだけの力ありたきものなり、そは別段六ケしきことにあらず、人の世話にならず、人を世話することなり、己れの働きを他人に及ぼすことなり。最も大なる感化を與へたる者は最も多く人を强いたる者なり。己れの言ふ所行ふ所が、何かの跡方を他人に遣すに於て、始めて人間の生活には味出づるなり、こは獨り男子のみならず誰にても然り。若し夫れ自ら人を强ゆる能はず、たゞ人に强いられてのみ生活せば、國としては亡國なり、人としては亡人なり、今の國に住し、今の世に處する須らく人に强ゆべし、人に强いらるゝの可なる所以を知らざるなり。

◎是亦節儉

戰爭に大物が入り、戰後の經營亦夥しき費用を要するが故に、國民は何でも仕末して、無駄な使ひをなすべからずとは、誰れ彼れ共に言ひもし行ふ所にして、實際其通り、結構なることなり、就ては入らぬものを買はぬは勿論、糸屑、紙屑、蜜柑の皮、竹の皮、桶の古輪から藁しびまで、何でも麁末にせず溜め置けとの注意說法年寄より聞かされて、成程尤も、よく氣の付いた者かなと感ずると共に、こゝに倘落ちたる節儉の仕方あり。例へば風邪を引かぬもその一なり、風邪を引いて身體をいため、苦い藥を呑んて、仕事は出來ず金はいる、之を無病息災日々の仕事が出來るに比ぶれは、それほどの損耗、費澤のあるべきや。朝となく晝となく出し拔けに訪問して、人の仕事最中を邪魔し合ふて、金よりも貴き時間は潰ぶしても、蜜柑の皮を潰ぶしてならぬか、長い手紙を一寸四方位の文字で行を開け廣げて書くは許すが、紙屑は棄てゝはならぬのかや。天地は逆さまに、晝は暗く夜が明るくなりたりとて、斯る道理のあるべきか、節儉にも大小あり本末あり、よくこれを見出し、判別して、遺憾なく行ふてこそ、働きある婦人、いみじき家政者とこそは云ふべけれ。

◎本會の光榮

先月廿一日本會は　皇后陛下より「明治三十七八年戰役に於て陸海軍人の慰安存恤に努力し克く其績を擧げたるを嘉ぶ」との厚き令旨を賜はりたり、それ獨り本會及び會員の光榮たるのみならず、斯る高尙なる事業に想到し、經營し、實行せるそのことが、忠勇無双なる日本男子の匹儔たるを恥かしめざるものとして日本婦人を世界に吹聽するものといふべし然れとも愛國婦人會の事業は此光榮ある令旨を拜戴すると共に、其終りを告げたるものにあらず、否此後こそは一層爲すべき多くの事業あるなり、戰爭は止めり、然れども會の事業は遺族の生活し癈兵の存する限りは止むと能はざるなり、我等は會の役員及び一般會員が此難有き令旨に益々勇氣を鼓舞して、其事業を大成せんことを望まざるを得ず。

◎獨乙國の婦人

監獄事務官　小河滋次郎

私は此程獨乙から歸朝したのでありますが、數年前の獨乙國と、今日の獨乙國とは著しく組織が變更したやうに思ひます、其中でも殊に目立つのは婦人の働きであります、私の專門なる監獄制度に於て見ましても、從前は女囚の監獄には婦人の役員が多くありましたが、其典獄までも婦人を使ふやうなことはなく、主腦たるものは常に男子でありましたが、今日では其主腦も女子であります、又女監なぞは、餘り婦人の職業としても好まぬ爲か、教育を受けた婦人は志願せぬ風でありましたが、今日では上流社會の貴婦人なども多く志願するやうになつて來ました、それと申すが畢竟他の職業は段々と滿員になつて來、到底志願しても目的を達することが出來ない爲め、遂には教育あるもの、又は貴婦人あたりが、其職業を執るに至つたと思ひます、其他女子の職業は擴張され、商店の簿記方は素よりの事、勸工場の賣子は殆んど女子であつて、郵便、鐵道の事務は申すまでもなく、裁判所の一部の仕事まで女子が使はるゝやうになつて居ります、又職業的でなく博愛慈善の事業に至るまで、英米の國に劣らぬ程働いて居ります、併し、此婦人が社會に立つて働き出す動機は、英米國と獨乙國とは少しく考へが異つて居るやうに思ひます、英米國人が博愛慈善事業を營むは主に宗教の觀念から來て居るのでありますが、獨乙の婦人の働くのは、彼の國に於て最も勢力ある社會主義を根據として、女權擴張の目的を以て働いて居るかの如くに見へます、社會主義に於ては經濟上の平等を主張すると同時に人格上の平等をも主張するに至つて、男子の享有するたけの權利は女子も享有するの權利があり、男子の働くだけのことは女子と雖も働かれぬことはないと云ふ考へからして、段々と男子の職業の範圍に喰ひ込み、妻として夫に對し、絕對的服從義務を持ち、頭の舉がらぬのは、畢竟男子のみ社會に出て働き、一家の經濟は男子の占有に屬し男子に寄つて食を求めるからであるが、婦人も一の勞働を爲し、一家に於ける經濟上の平等を得るに至つたならば、女權も擴張されるであらふと云ふが如き考へから、貴婦人と云はれて交際社會に働くよりも、寧ろ勞働者となつて、家計を裕かにするに若かずと云ふが如き主義よりして、婦人が多く働くように見へます、併し斯の如き現象が果して國家の爲、利益であるか否やは深く研究を要する事である。

電話番町五百二十番　本號には群馬支部凱旋軍隊歡迎光景寫眞版を附錄とす

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎交際と談話術

評議員　濱尾作子

▲經驗が第一　近來婦人交際の道が段々と開らけて參りましたに就ては、今迄は左程外へ出られなかつた方も追々交際場裡に出られるやうになつて誠に結構なとではありますが、まだ／＼西洋の婦人社會のやうに、我國では交際術が發達いたして居りません、是れは經驗に依ることでありますから、力めて交際社會へ出てこの經驗を積むやうにしたいものであります、最も中には餘り外へ出られたことのない方や、若い方になか／＼交際の上手な方がありますが、是等はその人の天性であると思ひます。

▲無言が多い　宴會其他集會の場所へ臨んで見ますに、折角臨席しながら遠慮して誰と談話を交へるでもなく、成るべく引ッ込み主義を取つて居られる方が多くあるやうですが、斯う云ふ方ばかりが多くては幹事たる人が大層に骨が折れると云ふことであります、幹事には骨を折らせ、自分は不愉快さうにして席に居る、斯んなことなら寧ろ出席しない方が宜い位ゐのものであります、出席したからには一堂に會した誰彼と談話を交へて懇意にもなり、自分も面白く愉快に退出すると云ふ方法を執つたが宜からうと思ひます、私などは斯かる席に出た時は、幹事の方に紹介の勞を執つて貰らつて一人で餘計にお昵懇になり、いろ／＼の話を承はることを勉めて居ります、さうなると自然交際の趣味も覺へて參り、何所の席へ出ても困まることのない、善き練習が出來るのであります。

▲活動の源泉　令孃方は別としても、モウ立派な奥樣になつて在らッしやる方が斯かる席で餘り遠慮をなさると、却つて失禮にあたることがあります、故に出席すると云ふ勇氣がありますれば、百尺竿頭更らに一歩を進めて、各自が抱懷する所の意見をも陳べるまでになつて頂きたいものであります、斯うなりますと總ての婦人團體などが今日よりは一層の活動が出來るやうになります。

▲西洋と日本　西洋では介娠時代から交際術を練習するやうに出來て居りますから、集會の節には時事の問題から家政の實驗談、育兒など、談話の種の盡くる時がありません、夫れ故落寞を感ずるやうのことはありませんが、日本婦人の多くは何うも談話する方が少なくて落寞を感ずる傾きがあります、今日では新聞雜誌などがあつて時事問題や社會の出來事は迅速に知り得ることが出來るのでありますから、集會の席上で互ひに是れを話し合ふやうになりたいものであります、談話は交際に必要な一條件であることを忘れてはなりませぬ。

▲分に應ぜよ　次ぎには服裝と云ふことが婦人交際に絶へず伴つて問題となつて居ります、服裝が元で集會などへ出るのを見合はせる方もあるやうですが、是れは甚だ宜しくない慣習であると思ひます斯かる惡弊風は速かに打破して、各々他人を標準とせず、分に應じた服裝をして夫れに甘んずる氣風を養成しなければなりません、分外の事を望むやうでは何事も出來るものではありません。

▲婦人の活動　國の進歩と共に婦人の活動が必要になつて參りましたに就ては、將來は婦人が社交に於て一大勢力とならねばなりません、然るに無言の婦人、遠慮勝の婦人ばかりが多くては國家の進運を圖ることが出來ぬ道理でありますから、何うか一般に婦人は談話術を練習して交際界の女王となられんことを希望します。

◎繪畫の趣味

評議員　跡見花蹊

▲裝飾と繪畫　女子は元來多趣味でなければなりませんから、音樂、挿花、點茶などを學ぶと同樣に繪畫に就ても多少の心得が必要であります、他家を訪問して見ましても、若し其家の主婦が繪に趣味を持つ人ですと、室内の裝飾が色の配合て如何にも垢ぬけがして居り、また置物などが配置よく並んで居るので、趣を添へるばかりか主人の品性を床かしく思はせるものであります。

▲繪畫と娯樂　繪に趣味を持ちますと大變に樂しみが多くなります、例へば一寸散歩しても其邊の景色が好いとか、または自分で意匠し圖案て衣服の模樣を染めさすとか甚だ興味深いものであります、殊に此繪は如何なる貧婦人にも適する上品な娯みであります、また一面には生活に困難をして居る婦人にも音樂など違ひ只筆一本で出來ますから、容易に樂しみを得られます、故に何人も老後の樂しみに之を學んで置くことが誠に宜しいことと思ひます。

▲品格と衣服　衣服は或る程度までは人の品格を定むるものであります、殊に其色の配合法は心の表出でありますから、教育ある人と無教育な人とは、一見衣服の色合によりて知ることが出來るのであります、人は凡て高尚に進むほど衣服の地合なども其れに準じて撰みますから、此れに相當せる美の考へを以て撰擇する事が必要であります、此點に於ては繪を學ぶと色の配合などに餘程注意が届いて來ますから、自然美に適つたものを着ける樣になります、是れに反して繪畫の趣味を解せず、彼の流行を趁ふて不似合な地色などを着て居る人は却て自分の天性の美までを見苦しくさせます、西洋婦人は色の配合法に就ては餘程進歩して居りますが、日本婦人は概して未だ充分とは云へません、格別美を競ふ譯ではありませんが、相當に上品な美を保つと云ふことは、日本婦人全體の品位を高むる一部分かと思ひます。

▲美的の觀念　山水明媚の地に美人多しか申しますが、綺麗は美しい景色や美人などをかくのでありますから、常に心に浮び目に映ずる所は美なるもの丶みで自然品性の高尚になるのを覺えます、また筆を執る時は、邪なる念を持つては決して美しい手跡の現はるゝものでありません、顏色を見て其人の運命を判斷すると云ふ位でありますから、精神を籠めて畫く其面目に畫くのであります、夫れ故斯る事が自然感化して美の觀念を養ふやうになるのであります。

▲美と善　美の觀念を養ふと云ひますと或は華美に陷るではないかと思はれるか知れませんが、決してさうではありません、哲學者のプラトーも、美と善は同じであると云つて居ります通り、道德上の善は美と同じく其人の行爲や動作に現はれ無言の内に人を感化するものであります、故に美は道德の根底となるべきものでありますから、婦人に是非此觀念を養はねばなりません。

◎體育と大和魂(上)

女子高等師範學校教授　井口あくり

▲體育の奬勵　日本では一般に婦人の體育と云ふことに就て左程重きを置きませんが、歐米諸國では大變に是れを奬勵いたします、勿論國の風俗の異なる點からして國民の嗜好にも種々相違する所がありますから、歐米で奬勵するからと云つて一概に日本でも是れを奬勵したいと云ふのではありませんが、諺にも『健全なる身體には健全なる精神宿る』と申して、他の事と違つてこの體育だけは、人生の幸福を增進せしむる上からして洋の東西を問はず、須らく奬勵するの必要があると思ふのであります。

▲所謂大和魂　日露戰爭に我國が絶大の勝利を得て國威を宣揚したと同時に大和魂もまた世界に紹介されまして、歐米人は頻りにこの氣風を研究しつゝありますが、この大和魂に就て私の考へますに、是れは決して人種の異なる所から起つた風ではない、唯だ往昔の武家に育つた婦人から及ぼした遺傳性であると思ひます武家に生れた婦人は優美に育てられる中にも雉刀や懷劍を教へられ、膽力勇氣を養成して、危急の場合に身を適宜に處することを鍛錬しました、即ちこの氣風が今日に傳つて所謂大和魂となつたのであると思ひます、而して往昔の武家育ちの婦人を見ますと、優しいうちに一種侵すべからざる凛然たる所がありました、是等は皆な體育から精神上に及ぼした偉大なる賜であります。

▲實例が證據　斯樣な次第でありますから體育を怠らないやうにすれば、纎弱なる婦人、少しの事にも恐怖心を起すやうな膽力のない婦人は見やうとて見ることの出來ないやうになります、論より證據私が教へて居ります生徒の中で、初めは萬事が甚だ遲鈍で、さうして弱々しいのが、運動や體操の結果で後には鋭敏く、活動的になります、是れは私の常に實見する所であります。

▲體育と精神　身體の强弱に依て精神上に及ぼす影響に甚しき差違があります、身體の健康な者は常に精神に愉快を感じますが、不健康な者は愉快と云ふことを殆ど知りません、人生の最も幸福なことは何んであるかと云へば、夫れは云ふ迄もない精神の愉快で、心の樂しい時は蕭殺たる秋の風も、斷へては續く叢中の蟲の聲も、さして悲しとも思はねば、哀れを催す媒合ともなりませんが、是れに反して不愉快な時は、春の花を見ても、夏の月を見ても、少しも美しい樂しいと云ふ感じが起らない、唯だ物憂くのみ感ぜらるゝのであります、故に人生の幸福を享けんとするには、何をしても身體を健康にしなくてはなりません、而してその身體を健康にせんとするには、體育を忽せにしないやうにすることが最も肝要であると思ひます。

▲十分缺片　記事輻輳に付き本號は休載します

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小説

同情袋

武田櫻桃

父上は未だお役所より歸り來ませぬなり、母樣は何か父上の他に御用出來て廻られたるなるべしと云ひて、炭などおこし、新聞を讀みて居給ふ。妾と妹の美代子とは炬燵を圍みて、昨日學校にて覺えし唱歌を諸聲に唄ひつゝ。

雪の積るにや、閑とせし夜を折々音づるゝは、雪折竹の戸に摺れて、さら〳〵と幽けき響き、冥府を渡る風とも聞て、淋しさはいや優したり、お花は臺所に雜巾を縫ひつゝあり。

妾等の唱歌を了れば、母樣新聞を膝より搔やり賜ひつ、綾子よ、さては美代子も、學校にて先生より聞きたる事はなきや、飢饉程恐ろしきはなかるべし、とのたまふ。

さなり先生より聞きたる事あり、宮城縣といへる地方は饑饉とやらにて、人々多く死するよし哀れなる事なり、と妾の云へば、美代子側らより膝押進めて、母樣饑饉とはいかなる事ぞや、いかにして人の死するにや、と問ふ。

道理ぞかし、美代子は未だ八歳の齢を聞かねば、何事も尋知らざるにやあらん、母樣はいと覺束なげに、涙眼の邊り涙さへ浮め給ひしが、

聞けや美代子、饑饉とは植えつけし稻の實らで、ところの人々やがて餓死するにぞある、妾等都に住めばこそ、白きお米の飯に飽ちて、今日は少しく硬し、今朝は軟か過ぎたりなど種々の贅澤いさゝか焦げたるは食はじなど、饑饉と云ふ事を想はゞ、神に恐ろしき沙汰ならずや、宮城地方の人々はお米は愚か、麥にも、稗にも餓ゑ果てゝ、今は死を待つ人のみぞ多き由、此新聞の繪を見るべし。

さらばいかにせば、その人々を助けまゐらせ得べきや、聞かせ給へ、母樣と美代子の云へば、さればなり、昨日さる慈善會より送り來せる同情袋と云ふものあり、これに白きお米を封じて送らんとも、さるは黃金に換へて贈りてんも心のまゝなるべきが、かくてこの同情袋の千となり、萬となりて、餓に苦しめるところに屆かば、いかで救ひ得られぬ事はあらじと思ふ。

そは好きものこそあれ、妾にも其一つを惠み給へ、過る日母樣よりリボン買はんとて戴きし五十錢の、未だ氣に入りしものなければ、買はで文庫の中にあり、あれにても入れて送らんと思ふ、いかにや、と妾の云へば、美代子は暫時打案じてありしが、やがて恥かし氣に顏を擧げて、母樣、妾にも五十錢を惠み給はずや、其代り明日より妾愼みて、彈み丸も買はじ、紙風船も手にせじ、さては大好きな蜜柑も花に買ふて貰はじと云ふ。

いしくも云ひたりけるよ、有繫に幼くともお父樣の子なり、さらば望みにまかせてん、姉妹して銀貨を入れなば、妾はお米にして送るべし、今一つは父上の分なりと母樣は笑ひ給ひぬ。

いつの間に歸り來ましけん、父上はかゝる時入來給ひしが、見るより美代子は走り寄りて、父上の外套の御袖に縋りつ、父上よ、御身は何を入れ給ふにや、妾等は銀貨にして、母樣はお米なり、父上は何をか入れ給ふと急がし立つれば、美代子が銀貨を持つべしとも覺えず、なにとや、明日よりは彈み丸も、紙風船も、好きな蜜柑も買はじとや、いみじう賢こし、さらば我も明日よりは煙草を愼み、今年一年の煙草の代をこれに入れて送るべし、よからずや、とあるに、母樣は莞爾み給ひつ、この一家の心だに神樣の聞しめさば、などて餓死ぬ人の救ひ得られぬ事あらじ、とて、樂しき夜の十時を伏戸に入りしが、夢に示現の、妾に幸ありと見しはまことか！（完）

◎坊やの古足袋

三島霜川

坊やの足袋は、たッた四文半である。長さも三寸とあるか無し。何んといふ小ッぽけな足袋でございませう。それでも白足袋で、誰が見ても、足袋に違ありません。さて坊やは、何ういふものか、この足袋を穿くことが大の大の大嫌でございました。すると阿母さんが「坊や、足袋を穿かないと、わん〳〵に喰ひつかれますよ。」といふものですから、坊やは仕方なしに足袋を穿くのでございます。

坊やは五ッ。だん〳〵と惡戯が烈しくなるところですから、なか〳〵體を動します。まるで一日ひッきりなしに、家の中を驅廻ッてゐるものですから、體も疲れますが、足袋も疲れます。お正月に購ッた足袋が、もう三度も洗ッて、親指のところ、中指のところ、踵のところと、都合三ッの穴があいて了ひました。

裏の雜木林の中で、藪鶯が、しきりに囀いてゐる朝。尙だ春は寒いけれども、日影が、ぽか〳〵椽から室へ射込むだ、のどかな日和でございました。阿母さんは、新らしい足袋を出して、つく〳〵と古い足袋の裏を瞶めながら、獨で、ふゝと笑出して、

「ま、足袋が、こんなに穴のあくほど、此の子が働くのかしら？　こんな足袋を履いてゐた子が、今に大人になるのかしら？」

と思ッて見てゐるうちに、その穴が、まるで人の眼と口のやうになッて見えるのでございます。

その時、坊やは、眼を覺して、

「母アちやん、何を笑ッてゐるの。」

阿母さんは、笑ひながら、

「坊や、眼々覺めたの。これ、御覽なさい。坊やのたアた（足袋）の可笑しいこと。こんなに、お口とお眼々が出來て。」

「たアたに、お口とお眼々が出來たの。眞ンと、母アちやん。」

とむッくら起上ッて、その足袋を手に取ッて見て、

「眞ンとね、母アちやん、眞ンとね。何うして、こんなにお眼々とお口が出來たの。」

「それはね、坊やが、餘り能く働いたもんだから、それで、たアたにお眼々とお口が出來たのよ。」

「坊やが能く働くから……。」

「さうよ、さうよ。」

と阿母さんは、うなづいて見せて、さて、それから、着物を着せて、新らしい足袋を穿かせました。すると、坊やは力味返ッて、

「母アちやん、此のたアたにも、お口とお眼々をつけて遣らう。」

と謂ひながら、とん、とん、とん、足踏をして居りました。

かくて午近い頃になりますと、お眼々とお口の出來た坊やの古足袋は、奇麗に洗はれて、底の方を日に向けて、竹垣の先に乾してありました。阿母さんは、その古足袋を保存ッて置いて、坊やが大きくなッてから見せやうといふ考……所謂紀念にして置かうといふ考なのでございました。

◎今式部

三浦千畝

山田氏、名は龜子。丹波國桑田郡の人山田道夢の四女にて、二十歲の時安藤定爲に嫁し、督子、爲實、爲章（紫家七論の著者）久子の四子を生む。山田氏幼より敏悟。甚だ歌を好み、古歌を暗記すること三千首ばかり、又出詠する所の秀歌極めて多し。是をもて常に九重に召され、屢々歌宴に侍す。時の仙院後水尾帝、呼ぶに今式部を以てせり。寛文八年歲三十九にして歿しぬ。家集一卷あり、今式部家集といふ。蓋し中院內府通茂の命ずる所。今年山紀聞によりて、家集に洩れたる詠歌九首を揭ぐ。

澤若菜

春はまたあさ澤水の薄氷解くる日かげに若菜をぞつむ

月前梅

霞む夜の月かあはれむ袖の上に折しも誘ふ風の梅か香

ほとゝぎす

夕月夜かげほのかなる雲間よりさやかになける山郭公

雨後の蟬

夕立の過ぐればやがて鳴く蟬の聲もすゞしき森の下かげ

八月十五夜

名にしおふ月の桂の下風にはらひのこせる浮雲もなし

秋夕

哀をも思ひたとらぬ夕さへそこはかとなく秋は悲しき

忍戀

此まゝにたへて忍の森の露消は果つるとも色に出てめや

夜をつらねて待戀

たのめつゝ來ぬ夜あまたの恨にこりぬ心を我ならうき

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎三ツの用意

評議員　小浦幾子

◎明日の用意　家政を整へる最良の手段は、明日爲す可き事柄は今日用意して置くと云ふことであります、假令ば朝飯を焚くことは誰の家でも定まつて居るのでありますから、今夜のうちに總て用意して、燐寸一つ磨れば火が燃えて飯が直ちに出來ると云ふ調子に行かなくてはなりません、朝起きてから米を炊いだり味噌を磨つたりする樣なことでは、一日中仕事にばかり追はれて仕舞ひます、之れと同じく夏の衣服は冬に調へて置き、冬のものは夏に調へ、來年起るべきことは今年のうちに用意し、子が出來たら孫の用意をすると云ふ程にせなくては家政は整ふものではありません。

◎用意周到　凡て何事にても三段の用意が必要かと思ひます、軍備を整へるに於ても現役豫備後備の三段の備へがあります、軍を進むるにも先頭と中堅と後陣があります、第一の備へが破れても第二の備へがあつて之れを支へ、第二が破れても第三の備へがあつて之れを喰ひ止めると云ふことに依つて始めて勝を得るのであります、家庭に於ける用意もまた斯の如きものであつて、何事でも三つの用意が必要である、假令ば下着類の如きでも、一枚は着る爲めに、一枚は着替への爲めに、他の一枚は洗濯中であると云ふ風に衣服調度總て日用のものは三通りつゝ備へて置くことが必要であります、併してこれは必しも新たに求めるには及ませぬ、上下貴賤の差別なく一家の主婦たるものゝ心懸け一つで自然に三つのものは整へることが出來ます、何故なれば凡て物は永く用ゆれば自然に破損するものでありますから、其際に新たなるものを需めると同時に古いものを捨てずして能く保存に注意したならば、必ず三つは調へることが出來るのであります。

◎足袋の用意　人の品性は頭の先と足の先とに顯はれて居るものであります、頭だけ美しく飾つて居る婦人でも、足の先を見ると汚れたる足袋を穿いて居るやうでは、其人の品性も大概想像が出來ます、私の家庭では足袋を穿くについて一の注意があります、それは他所に出る時は必ず便所に往き、さうして後に足袋を穿けと云ふことを守らして居ります、兎角婦人が他所に出る時は、足袋を穿替へて下着を着替へた時になつて便所に往くと云ふ風がありますが、甚だ不用意なことであります、私は他所に出る時は必ず足袋を帯の間に一足丈け別に用意して出ます、其譯は紙とか手拭とか云ふ物は人に借ることが出來ますが、足袋が汚れたからとて人に借ることは出來ません、女は兎角足袋を汚すものでありますから、其用意に必ず一足備へて居ります。

◎時間の用意　時間は總て定刻より十五分間前を以て定刻の時間と心得、總ての仕度が必要であります、會へ出る場合でも十五分間前に必ず到着して居ることが必要であります、昔の書物にも武士が途中で下駄の鼻緒を切つて之れを修繕する間に時間が取れて大切な席に臨むことが出來ないで、一代の面目を失ふたと云ふことがあります、梶原氏は馬の腹帯を締める間に宇治川で佐々木氏に乘越されたと云ふこともありますが鼻緒や腹帯は遲刻の理由になりません故に時間は定刻より十五分前と云ふとが必要であります。

◎育兒十箇條（下）

ミセス、グリーン

後五箇條

六　同情心を養ふ　同情の心は大人になつてからは作れませんもので、是れは子供の時から養成しなくてはなりません、男の子は小鳥や小蟲を捕らへて羽を挘つたり、手足をもいだり、果ては殺したりすることが能くありますが、是れは同情心とが無いからで、打捨てゝ置きますと、成人してから平氣で殘酷なことをするやうになります、自分より弱いものであるからと云つて、罪のないものを徒らに殺したり苦しめたりするのは、人間として最も忌むべきことであります、故に子供の時に能くこの道理を說いて聞かせて、貧民を見たら、自分の小使の内から少しでも宜しい惠むでやるやうにさせ、且つ公共事業に對して寄附をなさしめるとか、其他金のみでなく、心を以て病める者を慰め、貧しき者を憐むと云ふやうに、萬事につけて注意を與へて遣るのが、親たるものゝ大いなる責任であります。

七　兄弟間の親睦　兄弟間を親密にさせると云ふことも、また育兒上に看過することの出來ぬ一つの必要條件であります、而して其の間を親密にさせるには何うしたら宜いかと云ふに、是れは一例でありますが、私は七人の子供を有つて居りますので、各兒の誕生日を祝つて遣ます、さうして其日はその祝はれる子供を賓客として、他の子供には接待係やら裝飾係、料理の手傳などをさせまして、一同が充分の誠意と厚志とを以つて賓客を饗應することにして居ります、斯くすることが順番に各々の子供に廻つて來ますので、自然にその間が親しく睦ましくなつて來て居ります。

八　公平なる裁判　兄弟喧嘩の起りました時は、双方の子供を怒らせないやうに、公平なる裁判をして遣らなければなりませぬ、子供同士の喧嘩は、根が單純なものではありますが、親が下手な仲裁をした爲めに、一方の子供が親の所置に對して不服を抱くやうなことが出來ますと、其の反動が他人に向つて發し、將來恐るべき不和の基を作るものであります、故に兄弟間を和合親密にさせるのも、不和にさせるのも、要するに是れが教養の任に當る親その人にあるのであります。

九　父にも罪あり　子供の養育に就いては能く母親のみを責むる人がありますが、是れは間違つた見解であると思ひます、子供は兩親の行爲に依つて常に感化を受けて居るのでありますから、直接に父親は教育しませんでも、父親が每日の行爲は子供の性質を形造つて居るのであります、故に前に申しました如く、成る可く親と子供の間に隔てを置ぬやうにして、兩親は自分の爲すことを子供に知らせるやうにしたいのであります、同じ一家に住つて居りましても、精神の結合が出來て居りませんでは、眞のスウヰートホームとは云はれません。

十　美はしい家庭　要するに美はしい、樂しい、隔てのない、一家團欒をすれば、春風徐に起つて、燎爛たる花下を徜徉するやうな家庭を作りますには、兩親が能く心を合せて、さうして子供に立派な感化を與へることが第一であります。

◎我が家の家法

評議員　前子爵夫人　山地謙子

私の家には別段昔より傳はつた家憲と申すやうなものはありませんが、只一つ昔より八ヶ敷い掟となつて居る一事があります、夫れは「人に金を借ること勿れ人に金を貸すこと勿れ」と云ふことであります、如何なる貧困なる生活を營んで居た時代でも、生活に困しむからと云ふ理由のもとに人に金を借ると云ふことは決してせぬと覺悟を定めて居りまして、若し其日に金を借りなければ食ふことが出來ない時には、食はずと其日を越しても決してそれが爲めに金を借ると云ふことは致さぬ家憲になつて居ります、又人に金を貸すと云ふことは一寸考へれば甚だ親切な樣でありますが、其親切は反つて仇となり、其人の不羈獨立を害し、始めて懇意なる人も後には交通を絕に至り、結局は圓滿なる交際を永續せしむることが出來ないやうになりますから、金を借りたいと云ふ人には其始めに於て斷然斷はると云ふ主義であります。

◎かくすなかれ

某夫人

◎欲しがる　兎角子供は自分の持つて居るものよりは人の持つて居るものを欲しがる風がありまして、假令ば親が讀書などして居ると、其傍へ來て親の持つて居る書物を取らうとする、親は汚されたり破られては困まるから隱す、又た食物でも親が食べて居るものは何んでも欲しがる、親は子供に食べさしては宜くないものだと云つて隱す、すると隱されて子供は不快な顏をして居ります。

◎惡い習慣　是れは些細なことのやうではありますが、漸々に高じて來ると、人は何んでも持つて居るものは隱すものである、他人が見たら直ぐに隱さなければならぬものゝやうに子供心に思つて、終には成人しても矯正することの出來ない惡い習慣となります、秘密と云ふことは人間の最も忌むべきことでありますから、この惡習慣に染まらぬやうに、親たるものは能々注意しなければなりません。

◎親が惡い　一體物を欲しがる性質のものであると云ふことの分つて居る子供の見る前で、隱なければならぬ書物を讀んだり、食事をしたりするのは、子供が惡いのではなくて、親の方が惡いのであります、極論かは知りませぬが、覺へなくとも宜い惡い事を親が教へて居るやうなものであります。

◎此他の例　この外是れに類した親の不注意を列擧しましたら、實に枚擧に遑なしと云つても宜しい程であらうと思ひます、是等は皆な親がそれと知つて居てするのではない、固より無意識にして居ることには違ひないですが、何うか子供を有てる人々は、此邊に留意されんことを望みます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

◎令旨を賜ふ

日露戰爭に際し本會が國家の爲めに盡瘁せし儀 皇后陛下の上聞に達し去月廿一日本會々長公爵夫人岩倉久子氏を宮中に召され（會長所勞につき理事侯爵夫人鍋島榮子氏代理）左の如き優渥なる令旨を賜はりたり

令旨

明治三十七八年戰役ニ於テ陸海軍人ノ慰安存恤ニ努力シ克ク其績ヲ擧ケタルヲ懌フ

◎總裁殿下の御慶事　總裁閑院宮妃殿下には去月二十一日午前十時四十五分王女を御分娩あらせられ同月二十七日を以て左の通り御命名式を行はせられたり

一　御名　寛子

尚ほ右につき岐阜、埼玉、群馬、佐賀、茨城、兵庫、神奈川、宮城、鳥取、香川、靜岡、福井、山形、愛知、山梨、新潟、和歌山、島根、富山、德島、石川、京都、大分、奈良、大阪、福岡、熊本、廣島、千葉、長崎、三重、滋賀、山口、愛媛、福島、鹿兒島、高知、長野、宮崎の各支部長并に歸省中の奧村五百子氏、群馬縣高崎幹事部長矢島楫子氏等は夫れ〳〵電報また賀表を以て祝詞申上げたり。

◎理事會例會　同會三月中の開催日取は左の如し

三月七日（第一水曜日）午後一時

◎評議員會例會　同會三月中の例會は第四水曜日開催すべき所是れを繰上げ左の日取を以て開催す

三月十四日（第二水曜日）午後二時

◎令旨に對する奉答　別項所載の如く皇后陛下より本會へ對し令旨を賜はりたるに付き岩倉會長は總裁殿下の旨を奉じて左の奉答電報を香川皇后宮大夫まで差出せり

御令旨を賜はり感激に堪へず 總裁殿下より謹で御禮申上げられ候間不取敢電報を以て御禮申上候に付宜敷御執奏被下度御依頼申進候

◎令旨に對する御禮　別項記載の如く皇后陛下より本會は對して優渥なる令旨を賜はりたるに就ては總裁殿下の旨を奉じ岩倉會長所勞の爲め會計監督佐藤正氏去月二十五日目下皇后陛下御滯在中なる葉山御用邸に伺候し御禮を申上げし處拜謁を賜はり遠來の勞を慰せられ且つ本會の盛況を嘉し賜はりたり

◎有功章其他の贈與　前號所載の如く遲羅國公使稻垣滿次郎氏の手を經て邦貨金二千九百六十七圓九十五錢同國皇太子殿下其他より寄附ありたるに依り本會は今回左の通り有功章其他賞狀謝狀等を贈與したり

一　二等有功章　壹個
以上遲羅國皇太子殿下へ贈呈
一　賞狀　十八通
一　二等有功章　三個
一　三等有功章　十五個
以上パヌランダシー親王初め十八名へ贈呈
一　第一種謝狀　六十三通
以上王宅園初め六十三名へ贈呈

◎歡迎會臨場　去月二十六日日比谷公園に於ける英國皇族殿下歡迎會へ東京市歡迎會より招待ありたる爲め本會よりは役員二十餘名臨場したり

◎福島知事の謝狀　東北三縣凶作に付き本會より同縣下に於ける軍人遺族及び廢兵へ對し救恤金を贈りたることは前號の紙上に掲載する如くなるが右に對し有田福島縣知事より左の謝狀を送られたり

一金七百五拾圓

右は縣下軍人遺族及廢兵救恤の料として御寄贈相成御厚志の程感謝に堪へず候依て夫々配與方取計御寄贈の趣旨を全ふするを期し可申候先は不取敢御厚禮申述度如此御座候　敬具

明治三十九年二月廿四日　福島縣知事　有田義資

愛國婦人會長　公爵夫人　岩倉久子殿

◎天津よりの寄附　清國天津に於て客年十一月七日總領事伊集院氏の夫人率先して特志看護婦人會員等と慈善會を催し晝間は同會婦人方の手藝品並に本邦の雜貨を賣り餘興に英國の樂隊を招き夜間は婦人方の音樂活人畫杯種々餘興を催し猶ほ獨逸の軍樂隊を招き晝夜とも非常の盛況にて清國の大臣初め在留外國人は厚く同情を表し殊に平常は外出せざる清國婦人も多數來會せられたり而して其純益金五千八百六十二圓餘の內二千五百圓を赤十字社へ參千參百六拾貳圓餘を本會に寄贈せられたり

◎寄附金披露　其後拾圓以上の寄附金者左の如し

一金參百圓　沖繩　侯爵夫人尚マカト
一金二百圓　米國　ベーコン孃
一金八拾五圓餘　第五高等學校職員總代　櫻井房記
一金五拾圓　獨逸國人フリドリー、カアル、アルノルドハアン　在熊本
一金五拾圓　同國人ナメンゴー、フリッツ、フオン、ウエンダステルン　同
一金五拾圓　英國人ウヰリアム、イー、エル、スタキート氏　同
一金五拾圓　富山縣　土山龜
一金五拾圓　岡山縣　金光孫胤
一金貳拾圓　福岡縣　三尾ヶエ外八名
一金拾圓　東京市　山本政元
一金拾圓　新潟縣　新名天津子
一金拾圓　同　井海ノリ

右の內金光孫胤氏の分は式子氏葬儀の際時節柄葬儀を節約し又山木政元氏の分は同氏の妻女の遺志に依り香奠見舞等の寄贈を辭し寄贈せられたるものなり

又米國シャートル本會員部長久水和歌子氏より募集の寄附金八百六拾七圓餘贈り越したり其內拾圓以上の寄附金者左の如し

一金百壹圓　シャートル在留　下村松枝
一金六拾圓餘　同　平出スナホ子
一金五拾圓餘　同　丸山モト
一金五拾圓餘　同　木下吉政
一金參拾圓餘　同日本人　淺絡教會有志
一金五拾圓餘　同　庄司喜三郎
一金拾五圓餘　同　有志總代三木定吉
一金拾五圓餘　米國人ミセス、イー、エム、フヰリプ
一金拾圓餘　シャートル在留　田中孫八
一金拾圓餘　同　澤田虎雄
一金拾圓餘　同　城杉力丸
一金拾圓餘　同　綿岡菊松
一金拾圓餘　同　三木定吉
一金拾圓餘　同　佐藤彌吉
一金拾圓餘　同　船本平三
一金拾圓餘　同　藤川七香
一金拾圓餘　同　松本作之通
一金拾圓餘　同　河鰭節
一金拾圓餘　同清國人　胡昌麟

又米國晩香波委員部長飛川ふち子氏より募集の寄付金七百九拾九圓餘贈り越したり其內拾圓以上の寄附金者左の如し

一金參拾圓　晩香波在留　石川勝造
一金貳拾圓　同　牧志安能
一金貳拾圓　同　古澤金吉
一金拾圓　同　長嶋げん
一金拾圓　米國人ウエー、ウーバンフイールド夫人
一金拾圓　同　ユー、ピー、アースキン
一金拾圓　米國人　フレデリック、バスカム
一金拾圓　同　アール、ウー、マクファーソン
一金拾圓　同　ウエー、シー、キース
一金拾圓　同　トーマス、ウヰルソン
一金拾圓　同　ウユー、アール、シーモア
一金拾圓　同　エー、エム、メイソン
一金拾圓　同　ヘンリー、ベラーヴインゲ
一金拾圓　同　アール、キャンデイー
一金拾圓　同　エー、ウイリアムス
一金拾圓　同　チャールス、ウヰルソン
一金拾圓　同　ウエー、マーテイン
一金拾圓　同　エフ、ジー、ヴエード
一金拾圓　同　ドクター、バウアー
一金拾圓　同　エス、エーチ、ベーン
一金拾圓　同　アール、ウー、メアトロー
一金拾圓　同　ドクター、デイー、ペラーアインア
一金拾圓　同　ドクター、ユー、ヴー、グロンソン

◎特志寄附金　本會評議員中山幸子氏は過般鳩ノ臺砲兵第十六聯隊長成田大佐等宿泊の際中山氏の本會事業擴張に熱心なるを聽かれ直ちに金拾圓を同氏の手を經て本會へ寄附せられたり

◎尾原氏の寄附　北海道支部幹事特別會員尾原艶子氏過般病沒せられし所良人亮太郎氏より亡夫人生前の意志に依り此程支部基本として金三拾圓を寄附せられたり

愛國婦人會各支部會員女子人口比較表　明治三十九年二月末日現在

支部名	特別會員	通常會員	計	三十六年末女子人口	女子人口百人ニ付會員比例	賛助員
山口	八〇八	二六、四四七	二七、二五五	五〇六、九二〇	五、三八	一、〇七二
石川	一、四五八	一六、〇〇〇	一七、四五八	三八五、四七八	四、五三	七五〇
山形	八一六	一七、〇〇一	一七、八一七	四三九、六一八	四、〇五	[illegible]
岡山	一、〇五一	一九、〇五四	二〇、一〇五	五七七、二七二	三、四八	[illegible]
熊本	二、七四五	一六、二八九	一九、〇三四	六一〇、四一二	三、一二	[illegible]
京都	二、〇五二	一三、三〇九	一五、三六一	五三〇、三九五	二、九五	[illegible]
富山	七九二	一〇、五六九	一一、三六一	三八四、九八二	二、九五	[illegible]
兵庫	二、〇〇八	二二、七四八	二四、七五六	八九三、七三四	二、七七	[illegible]
愛知	一、一四九	二二、六四四	二三、七九三	八六八、五二五	二、七四	[illegible]
香川	七四五	八、六一四	九、三五九	三四七、八九〇	二、六九	[illegible]
北海道及函館	二、五八六	一〇、四五三	一三、〇三九	五〇七、六二八	二、五六	[illegible]
長崎	二、八一五	九、四五〇	一二、二六五	四八九、三六〇	二、五一	[illegible]
愛媛	五五〇	一二、二二〇	一二、七七〇	五一一、三九六	二、四六	[illegible]
宮城	一、四三四	九、四五四	一〇、八八八	四四五、〇四七	二、四四	[illegible]
群馬	一、一六〇	九、五六八	一〇、七二八	四五四、一七一	二、三六	[illegible]
青森	一、〇三四	六、五七五	七、六〇九	三二二、二一一	二、三六	[illegible]
大分	七六八	九、〇七八	九、八四六	四三〇、〇二五	二、二九	[illegible]
神奈川	一、三七〇	九、八九九	一一、二六九	四九九、六二五	二、二六	[illegible]
福岡	二、一二六	一四、四五七	一六、五八三	七七二、七四五	二、一五	[illegible]
高知	二四五	六、四四四	六、六八九	三一八、二四五	二、一一	[illegible]
三重	三五九	一〇、二四五	一〇、六〇四	五二三、〇三七	二、〇三	[illegible]
福井	七三六	五、六三三	六、三六九	三二〇、一〇四	一、九九	[illegible]
岩手	六二二	六、五〇九	七、一三一	三六九、二七八	一、九二	[illegible]
滋賀	四三三	六、五八六	七、〇一九	三六四、六八八	一、九二	[illegible]
宮崎	二五五	四、四九三	四、七四八	二四七、二二二	一、九一	[illegible]
奈良	二四八	四、八七八	五、一二六	二七八、一九一	一、八四	[illegible]
福島	一、一一一	九、二五七	一〇、三六八	五八二、一〇六	一、七八	[illegible]
德島	二九五	五、三八四	五、六七九	三五二、六〇八	一、六一	[illegible]
大阪	二、八六八	一〇、四四五	一三、三一三	八六三、[illegible]	一、五四	[illegible]
廣島	一、五六四	九、八五七	一一、四二一	七四六、六五五	一、五〇	[illegible]
佐賀	六七八	四、二三九	四、九一七	三二七、六七八	一、五〇	[illegible]
東京	五、六五五	一〇、七七一	一六、四二六	一、一九七、三〇四	一、三七	[illegible]
千葉	九五〇	七、四五五	八、四〇五	六五八、七八二	一、二八	[illegible]
島根	二六二	三、七六六	四、〇二八	三三二、三五五	一、二一	[illegible]
和歌山	二六〇	三、一〇六	三、三六六	三五〇、〇六九	〇、九六	[illegible]
茨城	四七八	五、二七七	五、七五五	六〇〇、四一五	〇、九六	[illegible]
鳥取	一五八	一、八五八	二、〇一六	二一七、四〇一	〇、九五	[illegible]
秋田	四四一	三、一八五	三、六二六	四〇三、九四六	〇、九〇	[illegible]
鹿兒島	九六七	四、三四五	五、三一二	五九四、九八五	〇、八九	[illegible]
山梨	二七二	二、〇六二	二、三三四	二七二、一四八	〇、八六	[illegible]
埼玉	二九二	四、六〇三	四、八九五	六二七、五五六	〇、七八	[illegible]
岐阜	五二六	二、八〇八	三、三三四	五〇二、六五八	〇、六六	[illegible]
沖繩	二九五	一、二六二	一、五五七	二三九、五二七	〇、六五	[illegible]
靜岡	三一二	三、五一九	三、八三一	六四〇、八四八	〇、六〇	[illegible]
長野	四四四	三、二八九	三、七三三	六七四、七一五	〇、五五	[illegible]
新潟	六三九	四、〇六六	四、七〇五	八九九、一一二	〇、五二	[illegible]
臺灣	一、〇一六	三、一八九	四、二〇五	[illegible]	〇、五〇	[illegible]
栃木	一五九	一、〇八五	一、二四四	四五〇、一七二	〇、二八	[illegible]
海外	六二八	一、九七八	二、六〇六	—	—	[illegible]
計	五〇、一七九	四一一、八八五	四六二、〇六四	二五、三一五、〇七五	一、八三	[illegible]

備考　支部の配列は女子人口に比し會員比例數の多き支部より順次配列せり
北海道及函館の兩支部會員數は合算して掲載せり其の內函館支部は特別會員四百九十六人通常會員千五百九十四人にして他は北海道支部會員數なり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

◉佐賀支部遊說日誌（二）

奥村五百子刀自一行

▲一月三十一日　晴午前十一時二十分川島副長久米伊丹兩幹事山村事務員同行佐賀停車場出發十一時四十四分小城停車場へ着辻郡長同幹事部長を初め中島岡外三名事務員中島幹事出迎はる一行は松屋旅館に投す岸川幹事來宿午後三時より櫻岡尋常小學校に於て開會聽衆約六百五十餘名辻郡長開會の趣旨を述べ次に講話五時閉會せり郡長幹事部長幹事と晩餐を共にし川島久米伊丹の各役員は歸佐せられたり

▲二月一日　大雨午前十一時四十分辻幹事部長鍋島中島兩幹事同、山村兩事務員同行小城出發多久村に赴きたり當村は比較的會員多く當々大に斡旋せられたり午後三時より光林寺に於て開會聽衆約四百餘名同事務員開會の趣旨を述べ次に講話同五時閉會せり

▲二月二日　晴零時十分の列車にて奥村女史來城せられたるを以て停車場へ迎ひたり郡長初め幹事部長外役員數名來宿共に饗膳を喫し（奥村女史は流動物を飲用）午後一時より同郡牛津町正満寺に於ける講話會に臨みたり聽衆約六百餘名奥村女史は病氣を押して出席されたることなれば郡長の開會の辭に續いて簡單に一場の挨拶をなし山村事務員と同行直に佐賀市へ赴かれたり自分は次て登壇約二時間の講話をなて閉會を告げたるは五時半なりき夫れより牛津驛に至り上り列車に乘じ久保田驛にて郡長外役員に別れ佐賀市旅館に歸りたるは七時なりき奥村女史は腹痛又起りたる以て就床保養せられたり

▲二月三日　晴午前十一時二十分佐賀發の列車にて松尾評議員下村幹事山村伊藤兩事務員同行杵島郡武雄町に到りたり停車場へは酒井郡長を初め同幹事部長幹事役員出迎はる一行は山崎旅館に投す午後三時より正法寺に於て開會せしに聽衆約一千餘名を數ふ酒井郡長開會の趣旨を述べ次に自分講話し終て奥村女史口演せられ閉會を告げたるは約五時半なりき

▲二月四日　雪奥村女史は腹痛下痢治せず非常に御困難なりしを以て山村事務員に送られ歸郷せられたり自分は幹事部長深松伊藤兩事務員と共に若木村へ赴きたり當日は降雪烈しきを以て來會者如何を氣遣ひしも集まるもの約三百餘名午後三時より秀岩寺に於て開會三竹村長開會の辭を述べ次に自分講話五時閉會せり當村は村長夫婦の熱心もて會員も多數あり御入會者も追々增加せんとするの勢あり

▲二月五日　雪晴午前九時酒井郡長來訪せられたり尤午幹事部長深松伊藤の兩事務員同行武雄發山口驛にて下車し此處より腕車にて福富村大弘寺に赴きたり石段村長初め有志出場午後三時より開會聽衆約五百五十餘名深松錄長開會の辭を述べ次に自分講話し時半閉會夫より一行は六角村に來り江口旅館に投す

▲二月六日　晴午前十時伊藤事務員同行旅館を出て藤津郡鹿島町に向ふ同十一時過到着直に郡役所に赴き郡長に面談夫より丸屋旅館に到りたり田澤幹事部長代理を初め外數名の會員來訪されたり午後二時四十分奥村女史來鹿直に會場なる郡役所に赴きしに聽衆已に充滿せり其數約五百餘名三時二十分を告ぐるや栗本副郡開會の趣旨を述べ次に自分講話し終て女史の演說あり閉會を告げしは六時なりき（奥村女史は腹痛下痢已み食事も稍進む樣になられたるを以て兎に角來鹿せられたれども未だ全治の運には至らざるなり）

▲二月七日　晴午前十一時森伊藤兩事務員同行多良村へ赴きたり午後二時同村へ着櫻屋旅館へ投す山口村長を初め各有志來宿せられたり同三時より圓教寺に於て開會聽衆約五百餘名村長開會の趣旨を述べ次に自分講話五時半閉會せり午後八時半鹿島町へ歸りたり當日奥村女史は來場せられざりき

▲二月八日　晴零時五十二分鹿島發栗山郡長森田田澤の兩役員伊藤事務員同行鹽田村蓮乘院に赴きたり濱口村長を初め各村長有志斡旋せられたり午後三時開會聽衆約七百餘名栗山郡開會の趣旨を述べ次に自分講話し終りて奥村女史の講演あり五時閉會森事務員は郡長と交代せられ森田幹事伊藤事務員同行嬉野村に到り大村屋へ投ず武富村長吉川署長來訪せられたり

▲二月九日　雨零時三十分旅舍を出て嬉野村に於ける講話會場圓覺寺に到りたり同村長を初め外有志各村長出席當日は吉川署長の非常なる斡旋により聽衆は約一千五百餘名殆んど立錐の餘地なし森課長開會の趣旨を述べ次に例の如く講話し五時四十分閉會せり吉田村長特に明日午前開會方申出てられしを以て自分のみ出席することに約し各歸宿したり森田幹事は歸鹿せられたり

▲二月十日　晴午前九時自分は森事務員同行前日與約せし吉田村へ赴きたり奥村女史は伊藤事務員同行伊萬里町へ直行せられたり吉田村に於ける講話會場は安德寺にして聽衆約一千餘名午前十一時二十分開會課長開會の趣旨を述べ次に自分約二時間半講話せり閉會後直に腕車を驅りて武雄町に向ひ午後五時二十分全驛發の列車にて伊萬里町に赴き七時二十分着岩田旅館に投ず

▲二月十一日　晴午前九時半市川伊藤兩事務員同行大川野へ赴き松尾旅館に投ず黑岩村長を初め有志來宿せられたり午後二時より賢勝寺に於て開會聽衆約一千餘名市川事務員開會の趣旨を述べ次に例の如く講話し五時閉會せり

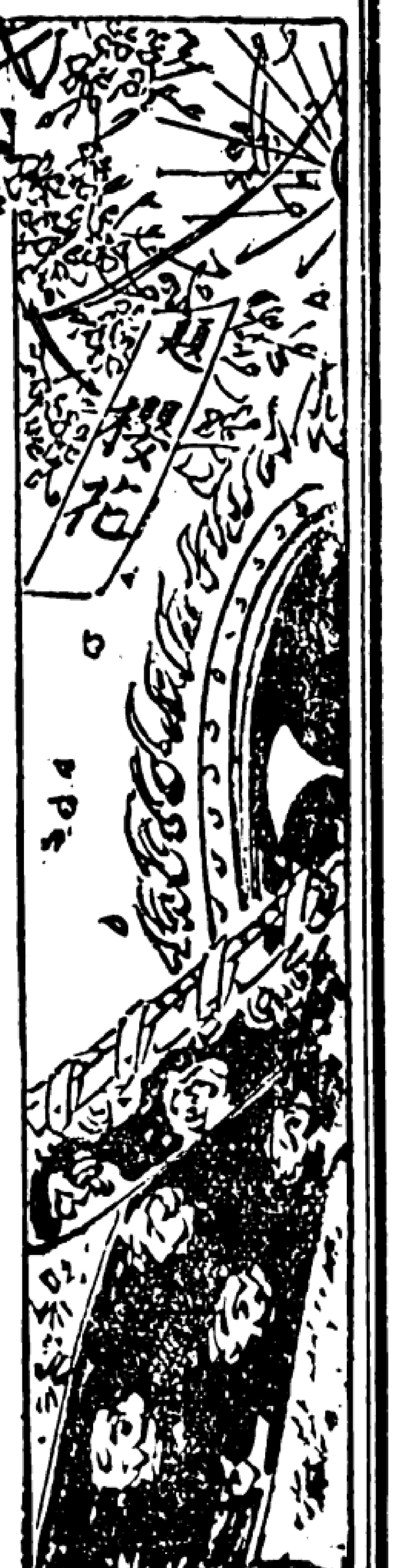
▲二月十二日　雪晴午前十時より大川野村貝泉寺に到る黑岩村長を初め有志來場午後一時より同寺に於て開會聽衆約八百餘名村長開會の趣旨を述べ次に例の如く講話し四時閉會直に腕車を驅りて伊萬里町旅館へ歸りたり時正に七時なりき

▲二月十三日　晴午前中は西松浦郡長の病氣を見舞ひ十二時歸宿支部よりは野々山評議員熊谷幹事山村事務員來伊せられたり午後二時四十分より教法寺に於て開會聽衆約一千三百餘名市川事務員の開會の趣旨に續て例の如く講話し五時半閉會せり當日手傘大映（此人は奥村女史と四十五年以前に親交を結ばれたる人にして當時は家貧しく特に家屋を賣却せんとする有樣なり）金十圓幹事松尾秀子五十圓を寄附せられたり

▲二月十四日　晴午前十時松尾千葉兩幹事市村伊藤鷲崎の三事務員野田委員同行西山代村字楠久本光寺に到りたり村長初め各役員會員途中迄出迎はる午後二時半より同寺に於て開會聽衆約一千餘名例の如く講話し五時三十分閉會直に伊萬里町岩田旅館に歸る

▲二月十五日　晴午前九時五十五分伊萬里出發有田町に向ひたり市川事務員初め有志役員會員二十余名停車場へ見送られ松尾千葉兩幹事岩田會員伊藤兩事務員同行せられ十時三十分着役員會員有志名出迎はる一行は河内屋旅館へ投ず庄司町長初め有志來訪せられたり午後二時より香蘭社（有田燒製造所）工業學校并に泉山（陶土採掘地）を一覽して六時歸宿せり

▲二月十六日　晴午前十一時より私立女子實業補習學校を一覽し午後二時半より陶山社務所に於て開會聽衆約八百餘名諸石事務員開會の趣旨を述べ次に自分と奥村女史と例の如く講話し五時半閉會せり（眞壽子記）



○けに神のうゑし種かも大八洲國ふりしるくにほふさくらは　北海道　西　久子

○さかえゆく御代の光のさしそひてみはしの櫻色まさるらん　兵庫　田中壽子

○世の人のこころも雲になりぬらん雲とみまかふ花のさかりは　大阪　富永才子

○外國の人もさくらをあふきみてやまとこころの花をしるらん　東京　浦　月子

○あまつ日の光ゐほろにみゆるまでさくらにくもる美吉野の山　鳥取　近藤靜子

○みよし野の吉野はいつも春なれや　雲と見るまで花そ咲ける　兵庫　玉田光子

○いたゐけの若木なからも手ひきして　春かまかせし糸さくら哉　岡山　武田須磨子

○花のもとにいとおもしろくあそひけり　よのうきこともわすれはてつゝ　北海道　大和みよの

○ましらなくみやまの奥も春くれは　花の都とたちかはるらん　北海道　大和智勢子

○春霞わけつゝゆけはこころもて　にほひこほるゝ山さくら花　靜岡　丹澤善子

○山風もとひくる人のおほきかな　さくらの花の咲きそめしより　東京　坂口順子

○しきしまのやまとにさける山さくら　とつくにまてもにほふけふ哉　茨城　綿引節子

○さくら花咲けるあしたや隅田川　にこるはかりにかけやとすなり　岡山　平松まさ子

○わか庭の老木のさくら咲しより　花のあるしとなりにけるかな　靜岡　松岡須磨子

○天のはらとよさかのほる日の本に　にほひあふるゝ山さくら花　茨城　綿引琴子

○霄の棋のなかき春日もをしまれて　さくらの木かけ立もさられす　長野　金野やほゑ

○いつしかとまちしさくらのこのころは　かはらぬ色に咲きそめにけり　岡山　貝原若子

○さくら花にほひそむれはむすほれし　人のこゝろもうちとけにけり　埼玉　森田竹子

○花みれは世のうきこともうちわすれ　なかき春日もいとなかりけり　東京　三宅ひさ子

○ひなみやこいつらわかたすさくら花　ひらきそめたるきのふけふかな　兵庫　下岡松枝

○つはものゝをゝしきかけをまのあたり　かたるに似たる山さくら花　埼玉　山崎匡子

○とつくにゝきのりませるものゝふに　さくらの一枝おくりてしかな　愛知　市橋いわ子

○ものゝふのこゝろとうたふさくら花　ことしはことにさきまさりけり　東京　小島幹子

○國たみのやまとこゝろとうたはれし　花はいましもさかりなりけり　愛知　山田しつ子

○日のもとのやまとこゝろのさくら花　とつくに人もあほきみるらん　山形　阿部さゐ子

○靖國の神のみまへのさくら花　ときをえてこそ咲きまさりけれ　東京　鈴木廣子

○ますらをのみたま祭にこその春　うゑにしさくら咲き出にけり　群馬　伏島たき子

○とつくにの人もことしはいさきよき　花のこゝろをさとりてやみる　京都　渡邊豐子

○ますらをのこゝろに似たるさくら花　さかりとみしもはやちりにけり　福島　伊藤靜子

○ものゝふのこゝろにおなしさくら花　ことしはことにゆかしかりける　埼玉　加藤みよ子

○ものゝふのこゝろにおなしさくら花　ちりてのちさへ香をそとゝむる　石川　新田順子

○ほまれえてかへるあるしをまつやとの　花はこそより咲きまさりつゝ　埼玉　水野淑子

○さくら木の下のかりれのたまくらは　花のふゝきにうつもれにけり　岡山　谷とめ子

○まきあまる盛りよりなほうれしきは　花のなかはそ見ころなりける　岡山　貝原壽惠子

○ものゝふのこゝろとやみんさくら花　ちりての後もかをりとゝめて　愛知　平松いと子

○ますらをのこゝろに似たる櫻花　いさとてちるを惜しまさりけり　長崎　本田操須子

○しきしまのやまとをのことさく花は　いろ深ゆかしき櫻なりけり　東京　井上いは子

○色も香も世にたくひなきさくら花　これそみくにのやまとたましひ　京都　藤波らく子

○伏いほのまかきのもとにさくら花　みちゆく人のあしをとゝめて　三重　玉置美津子

○とつくにの人もうらやむ日の本の　ますらたけをと山さくら花　靜岡　萩原さだ子

○神代よりかはらぬくにのすかたをは　さくらの花の色にみせけり　大阪　山中益子

○大宮のあつきめくみの下露に　山のさくらもさき出にけり　茨城　園部許子

○さくら花まつ咲き出てあし曳の　山路ににほふ色そゆかしき　東京　戸塚銀子

○よし野山みれもふもともさくら花　にほひにもるゝいろなかりけり　函館　静尾とめ子

○朝日かけさすや霞もきえゆきて　雲にきらめく山さくら花　函館　山本せい子

○春霞たなひきそめてあらし山　雲かとはかりさくら咲きけり　宮城　渡邊作子

○大御代の花はさくらと世にひゝき　ますゝゝ國のたからなりけり　函館　佐藤かつ子

○さくら花まつたむけてんものゝふの　霞ときえにしあかきみたまに　兵庫　松本芳子

○ふく風ににほひつとふる初さくら　花のありかはとはてしらるゝ　靜岡　青木鶴子

○みる人のなくともさけや山さくら　霞たなひく春はきにけり　京都　金澤敏子

○さほ姫の綾のきぬにやありつらん　山はさくらの花の色香に　兵庫　和田きさと子

○いつくにか船はつなかん隅田川　なかき堤のやへさくら花　函館　内山郁子

○しつかやの庭のさくらもさきにけり　ゑみやしぬらんみよしのゝ里　山梨　戸澤ゆき子

○さきにほふ盛きたかれの山さくら　雪か雲かとたれもみまかふ　兵庫　清原千代子

▲投詠數　五百三十六首

俳句披露　題「桃花」

○天　譽れある馬も繋いて桃の宿　兵庫　和田きさと子

○地　花嫁の素顔で來たり桃の里　青森　中田竹子

○人　植乃子は嫁入前や桃の花　東京　佐竹しづか

一群は女道者やもゝの花　東京　川合六花女
歡迎の旗立てあり桃の宿　埼玉　水野淑子
桃咲や檐に餘る水のかさ　函館　鴇田錦子
桃の香を雛壘みする四日哉　函館　佐藤勝子
無造作に活けて匪見桃の花　東京　加藤芳子
水上は仙郷とやら桃の花　東京　伊庭政子
桃咲や昨日の男士動採つて　愛知　山本多賀子
京雛に添へて贈るや桃の花　長野　金野やほゑ
牛もよき腹懸け着たり桃の花　東京　岡海春子
桃咲や乳母か齡も四王母　栃木　荒川緑子
春姫のかざし贈るや桃の花　弘前　すゑ女
桃咲や友を待つ間の三國志　愛知　市橋いと
香らぬは氣高き者ぞ桃の花　東京　平井千賀子
三歳兒にも手折れそうや桃花　兵庫　田中壽子
伏やから文の使ひや桃の花　東京　篠崎龍子
桃　枝折やひいなに飾るべく　東京　白井いし子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

短文披露

題「春雨」

▲花影鳥語　埼玉　森田　竹子

昨夜から降り出した雨は靜かに蕾ふくやかなる桃の小枝に濺いでゐる、雨の日といへば大方はいぶせきものであるが、春の雨は何んとなく長閑である、椽の障子を開けて外面を見ると、甲斐々々しく足駄を穿いて、小さい傘をさした小學生徒の愛らしい姿が四つ五つ群れて行く、氣の爲か畑の麥が昨日よりはつやがよくなつた樣に見える、梅は床しい香を送り、池の汀の猫柳は奇麗になつた、美しく咲いてる八重椿の下では、鷄が雨に濡れた首をかしげて何か考へて居る、と何處からか霞を破つて藁打つ音が聞えて來た。

▲選者曰　しめやかなる雨の音を聞くの感あり

▲田園縮圖　東京　浦　月子

月影の笠きていでしよべのけしき今朝の雨をしらせ顔なりしもうべこそ、柳のうれにしたゝる露ぬれて色ます花の梢いづこなるらん、鶯の聲もきこえてあはれにのどやかなる春の雨にもある哉、かゝる折にこそいとゞ故里は思ひ出でらるれ、打ちけぶりたる野山のけしき、空や水水や空なる海原のおぼつかなきに、簑きたる人の釣するにやあらむ、磯わに立ちつくしたる舟歌の霞をもれて聞えくるに、小山田のあらかへす賤がむちにあたりて牛のもうと聲あげたるなど、打ちしめりたる物靜けさ、折しも配夫のもてこし郵便いとうれしう、今もめに見る心地のせられて。

▲選者曰　雅邦の畫に有りさうなり

▲雨聲笛聲　大阪　富永　才子

軒端につたふ玉水の音を聞きながら、つれ〴〵のあまり文庫の掃除など始めけるに、ふと庭の方にて鶯の聲きこえつるやうに覺えしかば、やをら起ちて障子開きし見たれど心なしにか影さへあらず、されど昨日今日色めきし下草の雨にうたれて一段と美しくなり、綾織りみだる池の面に落ちし椿の浮びたるも面白う、はた鴛鴦の遊べる樣など心ゆくまゝに餘念もなう眺め入るをりから、靜にもれくる尺八の音、またいつもの君がすさびにかと耳をすませば、今日はあたりしめやなる故にもや、一しほ床しう思はれてなん。

▲選者曰　流麗と云ふの外なし

▲花ごろも　福島　横川千賀子

とく起き出でゝ曉の雲白き朝の景色眺めんと窓押あくれば、靜けくも音せで梅か枝に春雨ぞ降しきる、やがて開くべき花の色染むるもうれし雨の脚、かくて世は花の盛りとなれば、其細き手に妙なる花の香をうばひ、春の御神の色どりし其花衣も洗ひおとして色なうなしつ、あるはすみれ咲く野に降りそゝぎては緑色濃き若草萌やし、はた其しづく松が枝に宿れる樣、花ならば折りてかざゝまほしうも思はるゝ、實になぐさみ多き春の雨、おかしと一人眺むる軒端より、絶え〴〵落つる雫の音かすかに長閑なる樣なれや。

▲選者曰　技工に過ぎたり

▲心靜かに　千葉　清宮佐久子

麗かなる春の光りに花もやゝ綻び初ぬれど、鄙の住居は柴の戸叩く友もなく、淋しき儘に荒たる庭に下り立ちて湧出る清水汲みとり、澁茶などすゝる程に、軒の玉水たゑ〴〵に、心靜かに春雨ぞふる。

▲選者曰　簡にして餘情あり

▲八重紅梅　群馬　伏島たき子

祖母君風を召されて、臥し給ひしより、今日にて三日目になりぬ、いかに詫しう思すらん、昨夜より降りいでたる雨なほやまねど、今し小降になりにけり、いざ御枕元なる花さしかへばやと、傘を片手に後園におり立てば、今眞盛なる八重紅梅、濡れたる色の一しほ美し、いづれの枝を折りてんかと木すゑをながむる程、庭續きなる篁になつかしき聲す、あなやと耳をすませば嬉しうも鶯なりけり、あはれ同じくば祖母君の臥し給へるみへやの軒ばに來なけ鶯。

▲選者曰　優雅、作者獨有の筆

▲千鳥の曲　島取　近藤　靜子

徒然なる儘何くれとなく書を繙く折りしも、兄君の來給ひて今宵はしめやかなれば兄弟折集ひ、心行く限り遊ばゝやとぞゝのかし給ひぬ、恰も楊柳の風に靡くが如く、姉上も妹もはた吾も、やがて一輪活の梅花馥郁として芳香を放つ兄君の書齋に、琴、尺八など運ばれ、先づ六段の合奏を初めとし、千鳥の曲の連彈き、さてはあれよこれよと興じあひ、只管喜悦と滿足との情の外餘念なきほどに、夜いよ〳〵更けて、軒の玉水音繁し。

▲選者曰　樂しき團欒かな

▲雨か涙か　愛知　石川るゐ子

思へば去年の今日も朝まだきより春雨の降りけるに、いよゝ御軍のうへの偲ばれて、思はず袖をぬらしつゝ終夜いもやらで明しゝも、いつしか夢の心地せられぬ、今は我子の凱旋して、春雨にうからうちまとゐして戰ひのにはの物語聞くなかにも、共に出征し給ひし人の影だに見えず、仇し野の露と消え給ひし時のとを聞くにつけては、去年にもまさる思して、いひ出でむ言の葉もなき折柄、軒に落る玉水の音更らに滋し。

▲選者曰　春雨に去年のふること偲ばれて　いよゝ袂のかはく間もなし

▲又曰　この惑を懷くもの獨處にあらん今回の應募者中京都の原歌子、山梨の芦澤麗子、函館の島田錦子、埼玉の水野淑子の諸氏がいづれも面白く拜見したれども、餘りに技巧に過ぎて自然に調和せぬ節多く遺憾ながら選を逸れたり、殊に芦澤麗子の君は未だ一回の入選したることなきも、毎回缺かさず投稿せらるゝ其の熱心さ、敬服の外なし、乞ふます〳〵奮つて將來の短文壇の女王たらんことを期せられたく一言を呈し申し候

第廿三回作歌募集
題　汐干狩
選者　某公爵夫人
規定　一人三首以下
優等の作歌は四月五日發行本紙上にて披露すべし

第十六回短文募集
題　夢
選者　編輯局同人
規定　一行十八字詰十五行以下
優等の作は四月五日發行の本紙上にて披露すべし

第四回俳句を募る
題　時鳥
選者　編輯局同人
規定　一人三句以下
優等の句は四月五日發行本紙上にて披露すべし

締切三月二十五日限り

締切三月十日限り

創刊四週年紀念號

一母より受けたる教訓（短文）
規定　一行十八字詰十五行以下

一百（短文）
規定　百と云ふ字に對する感想　百字を限る

壹百號

一花間春月（和歌）
規定　一人三首以下に限る

一蝶（俳句）
規定　一人三句以下に限る

創刊四週年紀念號

三月廿日續行揭載

奥村刀自從軍紀念　好評第四版出來

婦人の慰問使

一部　拾錢　郵便金不要　紙數百卅頁　美本

▲何故に……此本が家庭の讀物に適するか
▲何故に……此本が會員が讀む要あるか
▲何故に……此本が學校圖書に撰れたるか
▲何故に……此本が讀者を泣かしむるか
▲何故に……此本が讀者を笑はしむるか
▲何故に……此本が體裁よく出來たるか
▲何故に……此本が多く寫眞版を入れたるか
▲何故に……此本が會長の歌を給ふたるか
▲何故に……此本がよく賣れるであるか
▲何故に……此本が安くて買はれるのか
▲何故に……此本が新年の贈物に叶ふか
▲何故に……此本が團體で多く買入るか

東京九段牛ケ淵公園　愛國婦人發行所

ヤッコ　カール

女俳優マダム　川上貞奴　西洋みやげ

佛國巴里シャルコー病院　ドクトルベルガー先生發明

此「ヤッコ」にて顔を洗へば西洋早化粧ゆへ日本流の薄化粧をせずとも顔をきれいにし常に用ひれば白色人種の如く色を白く艶を出し顔の小皺をのばし皮膚を滑にあらすことなく白粉のつきをよくす論より證據皆さん洗つて鏡を見よ

●定價一箇廿錢　全國送貸四錢　三箇入五十五錢　同送貸十錢（此箱入には西洋男女化粧法の秘傳をくはしく書たる冊本を添ゆ）

此「カール」は佛國一流の女俳優「サラベルナ孃」愛用の毛養劑にして縮毛を生し、毛を良くし毛をフックリとしてくせと縮毛を直す、油を代用し毛のねばりとよごれを取りサラ〳〵として衣類をよごさず束髪婦人下げ髪の令孃方には無くつてならぬ發明品、島田、丸まげにはびんたぼを……フックリさせ髪形をよくすること妙

●定價七錢分入廿二錢　全國送貸四錢　三袋入十二錢一袋入五錢同送貸二錢

東京神田區鍛冶町九番地　ヤッコカール日本一手販賣元　地球堂　田中丹治

●ヤッコカールとも全國有名小間物店賣藥店に發賣あり若し無くば代價へ送賃を添へ發賣店へ注文すれば急送す

毎號東宮妃殿下賜上覽＝本誌の光榮

女學界之評判雜誌

▲毎月一回一日發行 ▲年四回臨時增刊

懸賞文滿載

▲表紙口書皆鮮麗 ▲大判百廿頁以上 ▲價拾錢＝送無料

二卷四號 三月一日發兌（三宅氏水彩畫。寫眞版數葉。淸方氏繪葉書。木版密畫入）＝見本壹冊拾錢◎詳細は本誌に就て見よ

二卷壹號には石版極彩色附錄有◎二卷二號には東宮妃殿下三皇孫殿下の最近尊影密刷有（增刷出來 取揃應需）▲三號增刊は賣切

新版

鹽井文學士 尾上文學士 佐々木信綱 巖谷小波 廣津柳浪 山中古洞 先生選

女子懸賞文集

全一冊四六版洋裝上等紙四百二十頁 廉價金廿五錢 送料（郵券壹割增）

本書は女子が文章を練り詩歌を學ぶに模範的作文書として唯一の寶典たるべく殊に附錄として諸大家の作文上の心得となるべき名文を載せ修養の便に供したる無比良書也

發兌元 東京京橋大鋸町十一（電話本局六百七番）女子文壇社

特約販賣▲東京堂北隆館東海堂上田屋良明堂各店

消化新藥

工學博士高峰讓吉氏に由て發見せられたる有名なる胃腸新藥タカヂアスターゼは粉末錠劑水劑の數種として各藥店に販賣せらる

摸造品數多あり必ずタカヂアスターゼ名稱及弊店名義に乞御注意

本劑に關する說明書は御申越次第贈呈す

東京市南茅場町二番地 三共商店藥品部

FORMALIN SOAP

ホルマリン石鹸

◎殺菌防腐皮膚病一切によろし

◎養蠶家手洗消毒に最もよろし

消毒專用 化粧用 洗濯用

本舖 藥種問屋 圓城商廛 東京市日本橋區本町三丁目七番地

電話本局一四四三番

特別大販賣 東京本銀町三ノ十三 仲德商店

女子教育

主筆 文學士 下田次郎氏

毎月一回發行

本誌は本邦唯一の女子教育雜誌にて論說、研究、紹介、史傳、文苑、交通、彙報等其範圍頗る廣く而も下田文學士が其歐米各國に於て求め來られたる多年の研究を此上に傾倒せらるゝ事なれば獨り女子教育界の讀物たるに止まらず亦一般教育界、家庭、社會研究者の好伴侶たるべし

毎月一回 定價一部拾錢 郵稅一錢 一年分 郵稅共一圓二十錢

東京神田錦町一丁目 明治書院

家庭實用新案

▲齒と齒楊子

穴の開きたる齒には食物よく溜りて腐敗するものなれば掃除せざれば呼氣臭くなる、是には楊子にて掃除したる丈にては不充分なり、齒楊子にて何か防腐藥を用ふべし、齒楊子の上に一撮みの硼酸を置きて磨くは最よろし、斯くすれば齒の敗りを止めて廣がる事なし、一週に一度位は硼酸の飽和液か又は石炭散の極めて薄き液の溫めたるものゝ中に浸して漱ぎ置くを良しとす

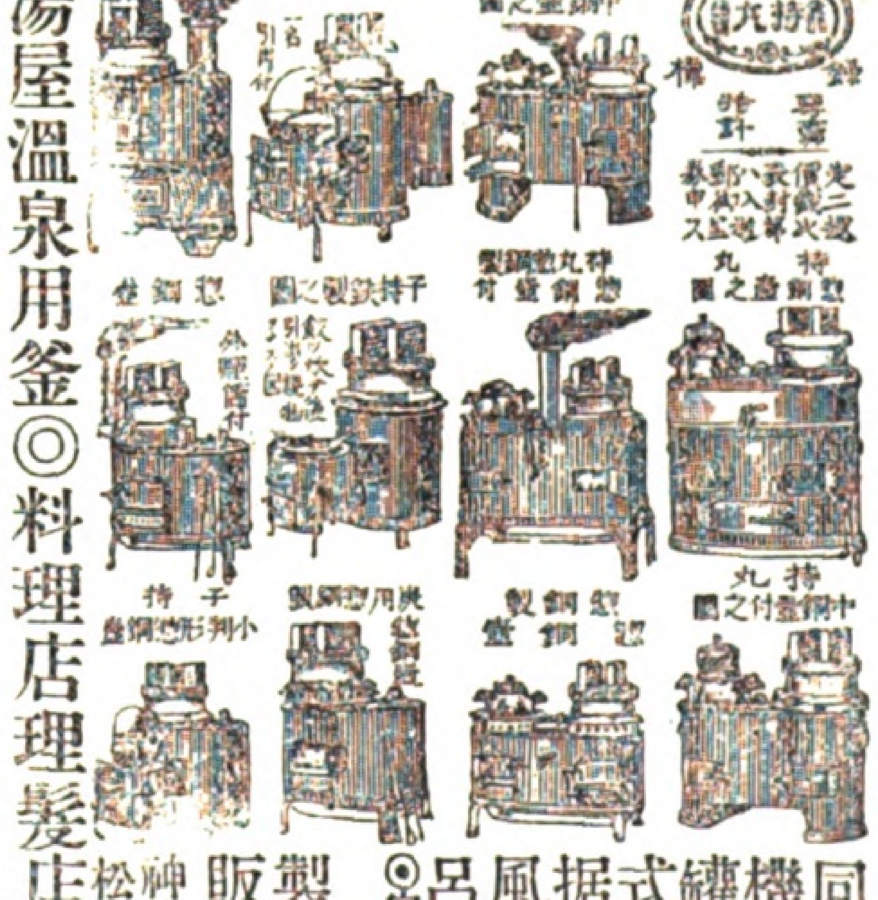
▲風邪の注意

大人も小兒も夜中風を引く事多し、併し風の原因は餘り能くは分り居らぬ樣なり、いつも床に入る時には心地よくして睡りたる翌朝になりて咽喉の痛き事あり又は肺炎や肋膜炎に罹り居る事あり、こは全く夜分被りて寐る時平均に被物の行き渡らぬが故なり、肩、腕、胸、喉などは最も風を引き易き場處なり、床に入る時は室も溫まれば朝方には冷へ切るものなり、かゝる時には肩など冷へ易きものにて、かゝる時よく蒲團を被れば心地甚宜し、小供は蒲團を脫ぐものなり故に風を引かぬ樣するには少々被物を脫ぎても障りなき樣豫め要心すべし

▲實扶的里亞の硫黄療法

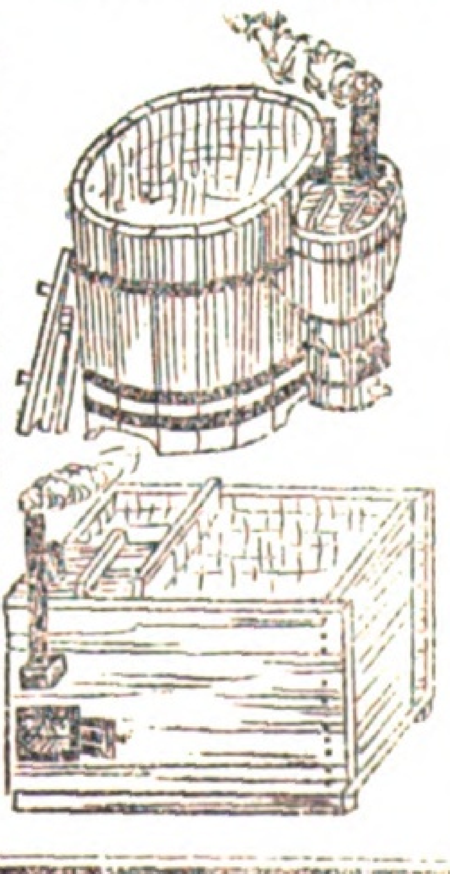
此病氣は素人にて手療法をするは危險なれど參考の爲めに記し置かんに、治療には硫黄花と羽根の管一本あれば充分なり其法小コップ一杯の水に茶匕一杯の硫黄花を加へて能くかき廻し（匕にて交ぜずに指を用ふべし）硫黄は水に溶けぬものなれども能く交ざりたる時此藥水を以て口中にてガラガラ（咽喉雷）をなすべし十分間にて患者は救はるべし、全體硫黄は人、動物、植物等にある凡ての黴菌を數分間にて殺すものなり此のうがひ水は吐き出さずに飲む方よろし病氣重體に陷り黴菌全く咽喉を鎖さんとせる時はうがひも出來ぬ故前記の羽根管にて硫黄花を患部に吹き込むべし、黴菌多少衰へたる時前記のガラ〳〵をなすべしこは外國の有名なる醫師の實地行ひたる方法なり

特許 ◉第五回博覽會賜褒賞特許



◎湯屋溫泉用釜◎料理店理髮店用湯風呂◎豆腐箱

同機罐式据風呂



◎定價表御入用の方は郵券二錢送付あれ

製造 名和商店 日本橋區蠣殼町二丁目十五番地

販賣元 名和支店 神田區和泉橋通松永町十八番地 電話浪花千百七十七番

最新の凱旋みやげ

陸軍凱旋寫眞帖 廿錢 郵稅貳錢五厘

◎口繪寫眞版五十枚 △悉く是れ萬世の紀念

◎大本營寫眞班の撮影せる日露休戰協定委員會見の光景を始め戰地引揚の光景等珍品

◎滿洲軍總司令部凱旋を始め第一軍第二軍第三軍第四軍鴨綠江軍凱旋の寫眞及歡迎會：

△記事には陸軍凱旋史（六十四頁）各軍凱旋の壯觀を詳述す文章：雄大光景活躍眞に千古の紀念

東京京橋南紺屋町 實業之日本社

貴婦人用小間物類 京染御半衿 其他東髮用品各種

東京日本橋區通り三丁目交番角

電話本局二千九百四十七番

○銀側兩蓋之部

價八圓半 流行滿手形 瑞西石入向爪アンクル
價十圓半 同 瑞西石卷上向爪アンクル
價十三圓半 同 瑞西三枚蓋石卷上向爪
價十四圓 米國中蓋付切天武向爪
價十七圓半 米國中蓋付上等品

○金側兩蓋之部

價三十三圓 流行滿手形 瑞西國十八金側御婦人持
價六十九圓 瑞西十八金側中形紳士持
價七十五圓 米國製十八金中形紳士持
價九十九圓 瑞西18金側形18紳士持
價百十五圓 米國製18金形18紳士持

商品案內 無代進呈

東京市京橋區銀座一丁目 電話新橋（二三三一）

伊勢伊時計店

▲諸大家贊助并に執筆

家庭新聞（第四號）（月二回 一部郵稅共[illegible]一ヶ年六拾錢）

▲萬朝報の批評（愛國婦人と同形の新聞）

本誌は優しき文藝の趣味と溫かき宗教の信念とを基礎と成し、生活に趣味あらしめんことを主眼とす、重野博士、江原素六、蜷川學士、門脇學士、前田博士、藤岡學士、渡邊工學士を始め其他諸大家の價値ある記事もて滿たさる、

思想の穩健にして文字の淸新なるは家庭新聞として上乘の面目を發揮せり云々

發行所 東京本郷四丁目五 家庭新聞社

賣捌所 東京本郷四丁目五 文明堂

同 東京堂。北隆館。東海堂。其他全國書店

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜報

◉勅語と令旨　去月十六日　兩陛下より日本赤十字社へ左の勅語及令旨を賜はりたり

勅語

明治三十七八年戰役ニ於テ陸海軍ノ衛生業務ヲ幇助シ遺憾ナカラシメ克ク博愛ノ實ヲ擧ゲタリ朕深ク之ヲ嘉ス

令旨

明治卅七八年戰役ニ於テ傷病者ノ救護ニ努力シ一視同仁克ク其本分ヲ盡シタルヲ懌ブ

又た二十一日皇后陛下には左の令旨を日本赤十字社篤志看護婦人會及び吾が愛國婦人會へ下し賜はりたり

篤志看護婦人會ノ分

明治三十七八年戰役ニ於テ傷病者ノ看護慰藉ノ力ヲ盡クシ克ク其ノ績ヲ擧ゲタルヲ懌ブ

愛國婦人會ノ分

明治三十七八年戰役ニ於テ陸海軍人ノ慰藉救恤ニ努力シ克ク其績ヲ擧ゲタルヲ懌ブ

◉皇后陛下御仁慈　皇后陛下が常に御仁德を施させ玉ふ事は屢ゝ報道し奉りしが日露開戰後我將卒の上に細大となく御心を傾けさせらるゝ事既に世に顯はれたる事實のみにても決して小少にはあらざるべし今復た陛下には左の如く御下賜金品ありたり

一金三千六百六圓也　　御菓子料
一フランネル襯衣　　一千七百三十枚

右は卅七八年の戰役に關し昨年五月中兵役免除と爲りたる癈兵の輩に御下賜あらせらるゝ旨香川皇后宮大夫より寺內陸軍大臣に御懿旨を傳達せられたるものにて其內譯は左の如し

一金四百八十八圓也
　下士百四十六名（一人金三圓宛）
一金三千百六十八圓也
　兵卒一千五百八十四名（一人金二圓宛）

又同年六月にて兵役免除と爲りたる癈兵に對しても左の如く御下賜ありたり

一金四千百十一圓也　　御菓子料
一フランネル襯衣　　一千九百六十九枚

右御菓子料下附の內譯左の如し

一金五百十九圓也
　下士百七十三名（一人金三圓宛）
一金三千五百九十二圓也
　兵卒一千七百九十六名（一人金二圓宛）

寺內陸軍大臣は直に分配方を命令し二十四日夫ゝ送達濟みと爲りたりと

◉御避寒中の兩宮殿下　小田原御用邸御避寒中なる常宮、周宮兩內親王殿下には同邸に成らせられたる以來日ごろ御本邸に在らせらるゝ如く嘗て御學課を廢し給ひしこともなく又學校制度に傚はせ給ひて日々の時間割を定め設かれ一學科を四十分づゝと定めて二十分づゝ休憩遊ばされ御休憩中は素より御庭園の散歩または御遊戲など遊ばさるゝ例なるが此程は長閑なる春日和の麗に暖かなりしより御外出遊ばされ早川口沿岸まで御散步あらせられ御途中湯ヶ原熱海に赴く陸軍の傷病兵を御覽ありて御歸邸あらせられたる程にて兩內親王殿下ともに御健やかに渡らせらるゝ由承はる

◉コンノート殿下御來朝　英國皇族コンノート親王殿下には英國皇帝陛下の御名代としてガーター勳章を吾が　天皇陛下に奉呈の爲め去月十九日御來朝霞ヶ關離宮に入らせられ同二十七日を以て鹿兒島其他關西各地方へ成らせられたるが近日御歸京の上日光に御旅行遊ばさるゝよし尙ほ殿下御滯京中は宮中に於ても特別の御厚遇あり市民熱誠を罩めて歡待し奉りたり

◉獨帝銀婚式と育兒院　文明の國にありては母が出產後其子に十分に力を盡さゞるの弊あり同邊の如きは昨年二百萬人の生兒中其五分の一四十萬五千人は出產第一年に死亡したるの事實あるより去月廿七日の獨帝銀婚式を機會として嬰兒死亡を防ぐ模範育兒院を開きたる筈なりといふ

◉女子同情會の救恤　女子同情會は今度東京市內の癈兵を救恤するの目的を以て同會に癈兵救恤部を設置したるを以て慈善資金として同會に蓄積しある一部を割き第一回救恤贈與を行はんが爲め去月廿五日午後一時各區の癈兵百二十餘名を築地同氣倶樂部に招きて其主意を發表したり同會顧問許宮正許氏よりは婦人の團體の此美擧を企てたる主意を演說したる後一同に金五圓宛を贈與したり當日出頭したる各區の癈兵左の如し

麴町區（五人）赤阪區（三人）日本橋區（七人）京橋區（九人）芝區（十五人）麻布區（十五人）淺草區（十二人）神田區（四人）下谷區（八人）四谷區（十一人）本鄕區（六人）牛込區（九人）深川區（九人）小石川、本所の兩區は取調後れのため出席なかりし

◉慰問義金の分配　先きに三井男爵は三井家一同を代表し凱旋軍隊の歡迎會を開かんとしたるも歸鄕兵士等多くして十分其意を遂し難きを以て金貳萬圓を贈り全國の各傷病者を慰藉する事と爲し寺內陸相に依頼し陸相は今回左の如く內外の各患者に分配したり

△一千七百四十五圓八錢也第一師團へ△八百五十一圓四十四錢也第二師團へ△一千五百八十六圓卅一錢也第三師團へ△一千五百十五圓五十二錢也△第四師團へ△三千八百四十八圓四十六錢也第五師團へ△七百五十四圓四十七錢也第六師團へ△三百四十圓三十八錢也第七師團へ△八百五十三圓十五錢也第八師團へ△二千七十三圓三十三錢也第九師團へ△一千三百二圓八十五錢也第十師團へ△一千百七十三圓二十七錢也第十一師團へ△一千百三圓四十二錢也第十二師團へ△四百九圓五十七錢也韓國駐箚軍病院へ△二千百五十三圓八十六錢也關東陸軍病院へ△百四十二圓十二錢也遼陽衛戍病院へ△三十七圓四十錢也樺太守備隊病院へ△百十圓三十七錢也淸國駐屯軍病院へ

◉東鄕家の慈善寄附　故海軍中將東鄕正路氏の未亡人は故中將生前の遺志に基き左の如く慈善事業に寄附金を爲したり

△金百圓馬公下士卒集會所△金五十圓竹敷下士卒集會所△金五十圓大湊下士卒集會所△金五十圓福井縣補仁會△金五十圓福井市の傷病兵

◉慈善大音樂會　英國大使マクドナルド氏同夫人發起となりて各宮妃殿下並に御來朝中なりしコンノート殿下の御賛助を得て東北三縣凶作地救濟義捐の爲め去月二十四日上野音樂學校に於て大音樂會を催したるが朝野貴紳の入場多く非常なる盛會なりき

◉外國婦人の活人畫　故英國公使フレーザア夫人等主唱となり凶作地救濟の爲來三月八日、十日の兩日（麴町區上二番町十五）米國大使青木子爵邸に於て活人畫を催す由、此活人畫は英國に於て歷史上顯著なる事實なぱ在留英國人の令嬢夫人などによりて現はさるゝものにして時間は八日は午後八時より十日は八時半より切符賣捌所は銀座の教文館、築地明石町五十六フレーザア夫人方及横濱のケリー商會等なり

◉凶作地救濟演藝會　在東京各婦人團體の重なる人々二百四十餘名發起となり去月二十七日より五日間歌舞伎座に於て凶作地救濟慈善演藝會を開催したるがコンノート殿下御招待演劇の際の裝飾を其儘使用したることとて入場者則して多く非常なる盛況を呈したり

◉女權擴張の請願　去月十九日の請願第二分科會に於て今井歌子、島山壽美子外ト名より提出したる治安警察法第五條改正に關する請願即ち女子の政黨政派に加入するを許可することと政談演說會に會同することを許すべしとの請願は委員福井三郎氏の發議にて滿場一致を以て其第一項を不採擇とし其第二項を採擇することに決したり

◉載澤殿下へ獻詠　東洋婦人會にては過般載澤殿下の滯京中會長鍋島侯爵邸にて殿下を初め隨員一同を招待したるが侯爵夫人は

わか東洋婦人會にて北洋大臣載澤殿下を招待し奉りて　會長　榮子
ましはりのひろきまとゐに影高き
その生のたけをあふくうれしさ

と云ふ一首の和歌を紅色の色紙に認め時代蒔繪鷄菊園の硯箱に入れて獻上したる由

◉兩女史歡迎會　昨四日午後五時より帝國教育會に於て今回蒙古より歸朝せる河原操子、淸國より歸朝せる淸藤秋子兩氏の歡迎會を婦人教育倶樂部晚餐會を催ほしたり

◉蒙古王の新家庭教師　過般歸朝せし河原操子の代りとして新に蒙古王の家庭教師たるは鳥井龍藏夫人君子と定まり蒙古カラチン王が北京に滯在を幸ひ來月末か來月早々同地迄急行し同道して蒙古に入る筈なりと

◉女子高等師範學校　女子高等師範學校目下の在學生三百六十三名內兼經留學生三名を有し來る三月末卒業すべきもの九十七名あり其學科別を擧ぐれば文科二十名、理科二十名、技藝科二十四名、家事專修科二十四名（事故一名）なり是等卒業生の奉職につきて文部省は各府縣の要求によりて配置する筈なるが今日の狀態に於ては各府縣を通じて理科技藝科の教師に於て著しく不足せる由なり、又其俸給につきては本科は三十圓乃至三十五圓、專修科は二十圓乃至廿五圓の標準なるも一昨年來戰時地方經費削減の餘勢を受けて最低額を給するの傾向あり本年入學志願者にして府縣知事の推選を經て應試せるもの八百九名に達し最近五年間に於ける增加の割合殆んど四倍を超えたり、又其志望科の變更につきても義に文科其過半を占め技藝科之に次ぎ理科最も少かりしものが本年に於て理科三百五十五名、文科二百九十八名、技藝科百五十六名にして理科の最多數を占むるに至りしは婦人教育思潮の變遷を見るに足るべし

◉共立女子職業學校　神田一橋なる共立女子職業學校は是れまで生徒入學の際試驗を要せざりしが來學期よりは試驗制度に據り試驗科目は高等小學校第二學年の程度にて讀書、算術、作文位ゐを課する筈

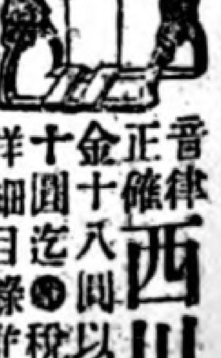
◉女子文藝學會　島地默雷師の幹する麴町區女子文藝學舍は來る四月學期よりは築地本願寺令女教會の別働隊として大發展をなす由

◉和洋裁縫教授　水戶市銀杏町に女子高等技藝學校及び實業補習學校を幹し年三百圓づゝ縣の補助を仰ぎ茨城縣女子教育の爲め盡力されつゝありし太田梅子氏は今回右兩校を閉して上京し門下生山口きし子と共に本鄕區弓町一丁目二十六番地に和洋裁縫改良教授所を開始したり

◉濟美音樂學校　は從來洋樂の外に箏曲、琴等を教授し居たるが今回和樂を廢しピアノの名手前田繼が主宰となり名稱も濟美音樂學館と改め音樂教授の外作歌作曲の需に應じ又音樂書類の翻刻出版等をもなすと云ふ

家庭こよみ

▲自三月五日至同十九日▼▲行事▼十八日　彼岸の入り△十四日　愛國婦人會評議員會▲日取▼先勝　六日、十二日、十八日△友引　七日、十三日、十九日△先負　八日、十四日△佛滅　九日、十五日、△大安　十日、十六日△赤口　十一日、十七日▲料理▼若鮎、さば、鰆、飯章魚、かれい、かながしら、きす、こち、鰻、鯉、鯔、鯰、蛤、あさり、柴蝦、赤貝、蛸、小鳥、三ッ葉、芹、花柚、椎茸、ひじき▲遊樂▼潮干狩▲日曜▼十一日、十八日

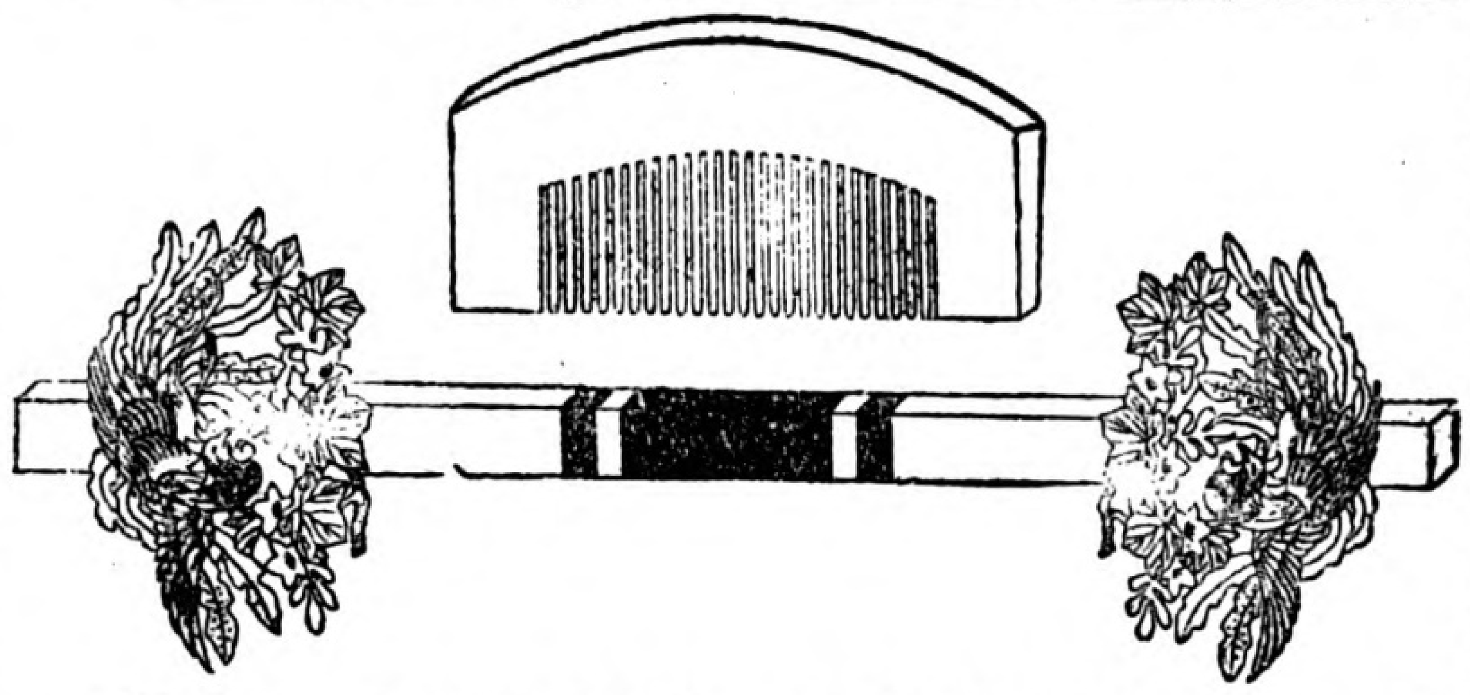


日本元祖　保險附　音律正確　西川風琴　金十八圓以上金二百五十圓迄◉税券二錢にて詳細目錄進呈
船來　手風琴　澤山新荷着　金三圓廿錢　三圓半　四圓四圓半　五圓半　六圓　六圓半　七圓半　八圓　拾圓
船來　バイオリン　澤山着荷　金拾四圓以上　◉新着金七圓迄
ハニカモン　凱旋歡迎樂隊用樂器　各種廉賣　●弓箱外附屬品一式
紙腔琴　本舖　東京銀座三　十字屋

西洋菓子
消化良好　滋養豐富
森永マシマロー
森永フレンチ
森永メキスト
森永バナナ
森永チヨコレート
森永クリーム
四季腐敗の憂なし
家庭用　宴會用　進物用　として日本菓界の覇王
◉賣捌所は市內及全國到る處にあり
製造元
森永商店
東京赤坂田町
電新二七七九

補血良剤
ヌポール無味肝油
補血劑として稀世の卓効を有する新藥にして僅かも惡臭を存せざるのみならず飲用に適する香氣を有するを以て婦女子も尙喜びて服する事を得べし
東京日本橋區本町四町目
合名會社島久商店
（電話本局特四九一　電話本局三〇一八）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



上圖御簪の材料は鼈甲を以て随一となせど鼈甲の中にも品質の佳ならざる物少からず此品は鼈甲中の最良質を精選して良き工の手に成りたる物なれば透明にして曇を生ぜず浮を出さず幾久しく御道具となるべき逸品なり

○本甲製一組價　二十五圓　三十五圓　五十圓　七十五圓　百圓　百五十圓　二百圓　二百五十圓

○甲張製一組價　十圓　十二圓　十五圓　十八圓　廿圓　廿五圓　三十圓　三十五圓

東京市京橋區尾張町
白牡丹本店
松田幸治郎
電話新橋五五一番

▲世界のしんぶん▼

◉**珊瑚の教會堂** はマヘ島にあり島は海面上三千呎にありて印度洋中ザイセレス群島中の最高なるもの此會堂は珊瑚の大なる塊を切り出したるものにて作られ大理石の如く輝き渡るとぞ

◉**リヨウマチス病** の不思議に治る處はモンスンマノといふ處のギユウス千洞なりといふ此洞中にある天然の蒸氣は百發百中のリヨウマチス根治の効あり五十年許り前に職工等石灰石を掘りつゝありし時此洞を發見して此の効能をも發見せり、最下の地底にては華氏の九十五度の温度あり、此病氣の患者此處に坐りて發汗する事一度に一時間なれば有名なる土耳其風呂よりも効能ありといふ

◉**一日百萬通** の電報は明治三十六年に世界中にて發せし數なり即ち同年には三億六千四百八十萬通の電報發せられたるなし此數の内英國は九千二百四十萬通にて第一に位し北米合衆國第二に位して九千百四十萬通、佛國は第三位にて四千八百十萬通なり其他は獨逸、ロシヤ、オーストリヤ、ベルヂユーム及イタリヤの順なりといふ

◉**俸給少き巡査** は南洋オーストリヤ洲のパプアン人（土人）の巡査なり俸給として一年五圓と制服二着を給與せらるゝものにて全オーストリヤ州中最も少き俸給の巡査なりといふ

◉**長き名** 布哇島の案内記に載せられたる人名中長きもの多きが内左に其最なるものを記すべし、そはアンニー、ケー、ケオホアナアカレインフエアカウエロアイカナカ鐶といふなりポーリン、ナプコドノヅウイスヅウナは合衆國にての最長の名なり同國には此外にサルヴアトール、シユリアノザトンナリエルロ、及びベルナアド、ヴー、アーレンホエルステルパウメルも長き名なり（日本にては目下出征中の第一師團附屬電信隊附歩兵一等卒に野田江川富士一二三四五左衞門助太郎といふ人ありて、凱旋中なりといふ、妙な名もあるものならずや）

◉**白亞婦人** 米國フイラデルフイヤ市にて昨年末に一人の婦人死去せしが此女は久しき間醫學者間の疑問となりし人なり、そは病氣の爲めに骨格の全體は白堊と變じたるなり、夫故時々身體を動したる時僅かの動搖にて腕や脚を折挫したる事あり醫師も何時首を折るやも不知とて僅かに二三寸の間丈首を動かし得る樣にして臥さしめたり又下腭の掛けて落つる事あるを恐れて顏には常に繃帶しありしといふ

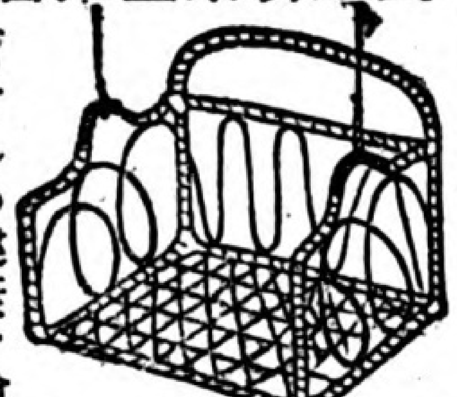
◉**フイジー島** の化石珊瑚は世界第一等の建築材料なり始めて切り出されたる時は餅の如く軟かにして空氣に觸れて花崗石程の固さとなるといふ

◉**大眼玉** を有する動物中陸上に居るものは馬、麒麟及駝鳥にて水中に居るものにては烏賊なりといふ

◉**新聞貴族** 英國倫敦なる三十餘種の新聞の所有者兼發行人たるアルフレツト、ハームスウオースは此程貴族に叙せられたるが他の同業新聞社は非常の憤激を起したり其理由は彼れが財政上よりは大なる成功者なるも彼れが英國新聞社會の慣例を抛棄したるは（貴族となりたるを云ふ）多くの人民に不快の感を與へたりと云ふにありと云ふ

▲世界のしんぶん▼

新式安全ブランコ
實用新案登錄番號一〇三四



心安からざれば如何に運動するも其効なし此新式安全ブランコーは此點に工夫せしものなれば實に安心に愉快に充分身體の各部を均齊に發育せしめ健康を增進する事が出來ます發明者は常に幼兒の體育の目的より安心愉快の運動器具の備なきより生ずる間食の害を防がんものと我が子の實驗上より工夫せしものなれば愛兒の體育を重ぜらるゝ父兄諸賢の御試用を乞ふ

（賣價 大小上中下 六拾錢より貳圓迄）御通知次第見本持參可仕候

本郷東片町一一九　製造元　菊池

御題新年河柄　半ゑり帯揚類

新春期節模樣縫入鎌倉好み
○肩掛輸出向羽二重製高貴ショール○絹毛
○おこそ頭巾地○男女方襦袢とて○長襦袢
○肩裏地○男襟卷○勅題柄凱旋帛紗○襟飾

新橋竹川町十二番地　電話新橋二〇二七　本店　ゑり治
神田表神保町壹番地　電話本局九五二　支店　ゑり治
新橋際帝國博品館内階下　ゑり治出張店

社告

▲讀者に申す　本紙に廣告を依賴する商店は最も確實なる商店のみなるに付き安心して購買方申込まれたし尚「愛國婦人の廣告に依り申込む」との十三字を書添へらるゝ場合は商店に於て購買者に信用を置き且つ本紙も廣告の効用を證明する義につき必ず御書添を奉願上候

▲廣告主に告ぐ　來る三月廿日にて滿四ヶ年に相成り且つ百號に相當するを以て記事を精選し紙數を增加し發行すべきにつき可成多數に廣告御依賴相成度候

愛國婦人發行所

婦人藥王　中将湯（ちゆうじやうとう）

子宮病　血の道　さん前産後　のぼせ頭痛　腰足冷込　下腹痛み　月經不順　白血ながち血　其他婦人病　一切の特効藥

定價

東京日本橋區通四丁目
本舖　津村順天堂
支店　大阪堺筋大寶寺町南入

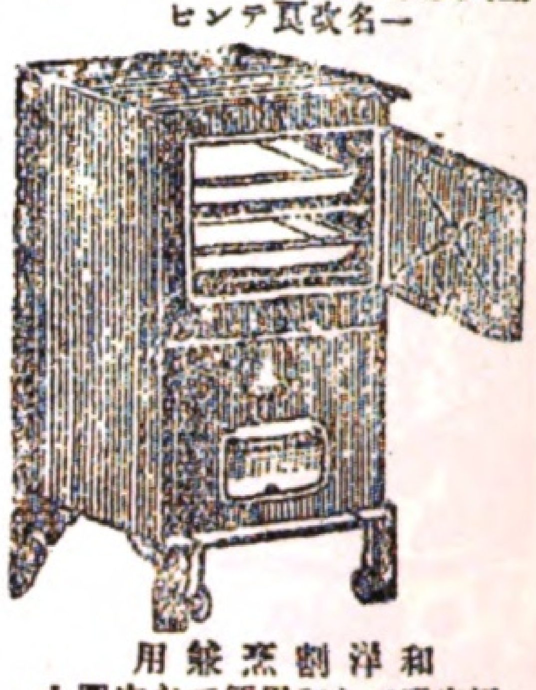
季節向き新柄物漏れなく取揃へ店内一面に陳列致し置候間御來觀被成下候樣奉希上候
地方よりの御注文は御書面にて御申付被下度く即日小包郵便をもつて御屆け可申上候尚ほ注文御案内書は御一報次第呈上可仕候

東京日本橋駿河町
三越呉服店

電話本局
五二五
一二一七
一七九三
一八五六
一八六〇
二二二二
三二七八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

特許 輕便料理ストーブ
一名改良テンピ



和洋割烹蒸燒用

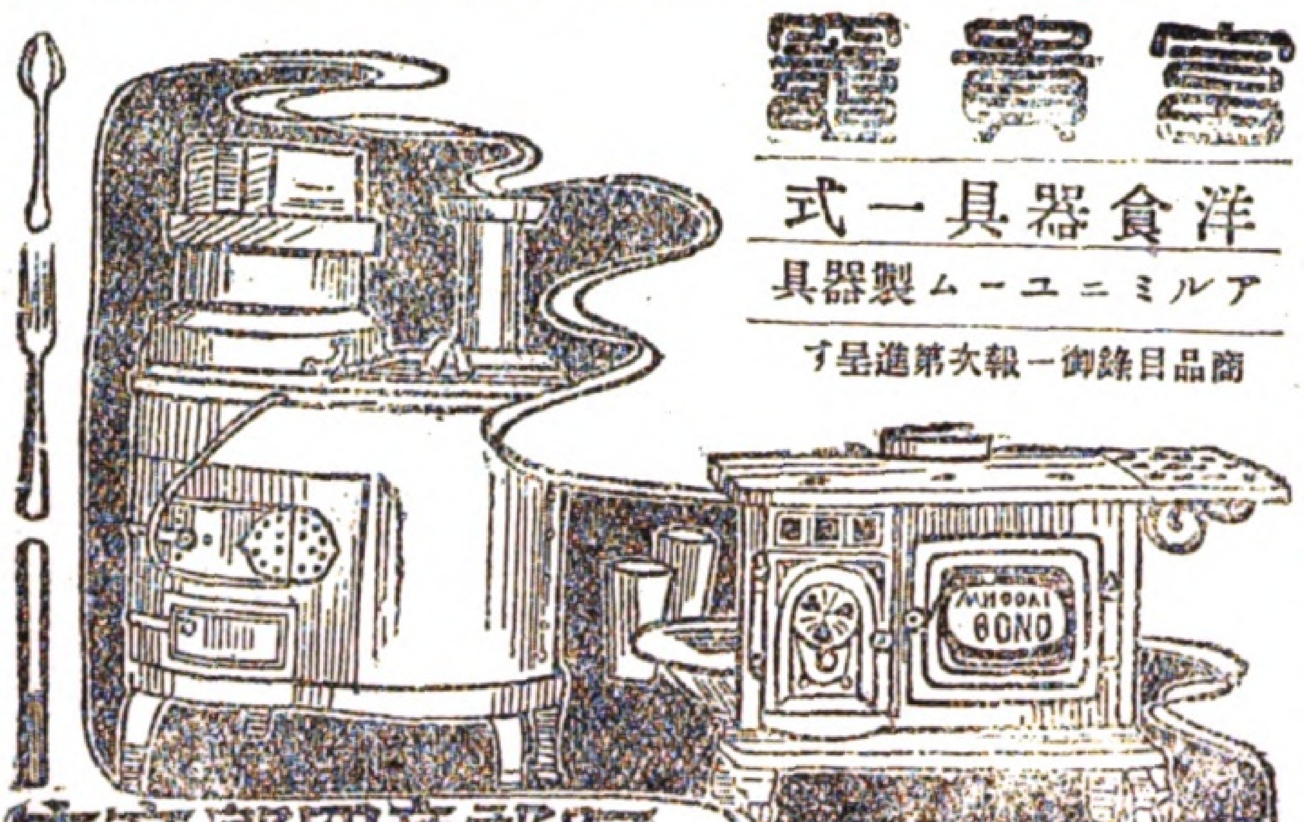
輕便にて完全に料理ストーブの効用を爲す、和料理に用ひ至極便利にして頗る妙なり
定價小四圓五拾錢
大六圓

寶壽竈

洋食器具一式

アルミニューム製器具

商品目錄御一報次第進呈す



阿部彥四郎商店
淺草茅町須賀橋際電話下谷一九二三番

美人ムスク石鹸

此全形ナキ物ハ模擬ナリ

美人ムスク白粉

東京市日本橋區新和泉町
輸入元　桑原花生堂

◉女醫學生募集◉

前期生二百名●後期生五十名

新領土の發展は益々女醫養成の必要を感ぜしむるに至れり、本校は此趨勢に應ぜん爲に此際規模を擴張し講堂を新築し來る五月十一日より新學期を開始し入學を許す四月二十五日迄に願書を提出すべし

詳細の規則は郵券三錢を要す

東京市麴町區飯田町四丁目九番地

東京女醫學校事務所

花王石鹸

品質善良　衛生ト經濟ニ適ス

本舖東京　長瀬富郎

米國聖路易萬國大博覽會
名譽銀牌受領

關西代理店大阪大崎組商會

新聞の新聞

◉日本　現今の行政組織に於ては絶へて郡の必要を見る事なし往昔自治未だ行はれず官治の範圍廣汎なる時代にこそ必要なりしなるが今の如き自治權發達せし時代に郡を存置するの必要なし内相が地方官の招待席上に於て郡制を廢すとの意見を陳べながら郡衙の存立する事依然たるに於ては龍を描て眼睛を點ぜざるの類である寧ろ一歩を進めて行政區劃を廢し其名を地理の上にのみ止むるを可とす

◉每日新聞　一大怪事は現はれたり一大怪事は現はれたり司法權の獨立を破り自由權の基礎を危うせんとする警視廳間諜の自白と云ふもの即ち是なりとの提按の下に論歩を進めて曰く桂内閣民心の背戻と警視廳の失態と河野氏等の檢擧は一層警視廳に對する國民の激發を高めしに今や又此怪事は國民をして益々警視廳に對する激發の念を強からしめんとす人民自由權の危機は此擧に在り國民たる者嚴に此事件の進行を監視せざる可からず

◉國民新聞　東京たよりに曰く東京市のコンノート殿下歡迎會は概して成功と申すも差支なかる可く候。三年立てば三つになると申し候。東京市も度々の經驗にて貴賓の接待も多人數の來賓も別段泡喰はぬ迄に進歩したるは吾人が之を識認するに吝かならず候。吾人は市長以下市の公吏名譽職諸君に向て感謝の意を表す。是れ實に市民の志と存候。日本人の技巧は日比谷公園に三日の中に建設したる宮殿にて表明せられ候。木下藤吉郎が州股河畔の築城も決して小說に止らざる可く候。惟ふに英國皇族殿下も定めて御滿足なりしなる可く而して御歸國の土產としては東京市民の歡迎は其の一なる可く且つ重なる一ならむ。

◉萬朝報　俗惡なる趣味との題下に論して曰く尊重すべき貴賓を歡迎する時公けの場に出す可らざる醜業婦を歡舞せしめ大名行列と稱へて餘興行列を演ず而かも大名行列の大部分を占むる古武士の倣は一もあるを無し、彼等が貴賓を歡迎する所以を解せざるの愚や言を俟たず其の趣味の卑俗なる幾んど鼻を掩ふて走らざるを得ず趣味の卑俗は品性の墮落也吾人は我が國民思想の趨勢に視て深慨なき能はず

◉二六新聞　苟も鐵道國有を論せんと欲せば政府の經營が民業よりも著しく優位に在るを證明せざる可からず然るに鐵道作業局は他の民設鐵道に比し劣等の地位にあり國有を唱道する理由何處にあるか要するに國有の目的は鐵道の進步發達を促すにあり然るに之を以て外債募集の手段に供せんとするが如き其道を誤るものと云ふ可し

最上醬油元祖

上

釀造元　下總銚子町　濱口儀兵衛

荷扱所　東京北新堀七番地（電話浪花二五九四）　濱口支店

○宮內省御用達也
○開業二百六十二年
○品質の吟味嚴重也
○風味他品に超絶す
○日本一の釀造高也

北海道函館末廣町　濱口支店

大阪西長堀南通一丁目電特（西二〇〇五）　濱口出張店

登錄商標

市内ハ御用向の節ハ一報次第何時にても伺仕候

羽おり紐　華しろ

東京よし町　信竹組糸舖

電話[illegible]

定價表ハ御申越次第直ちに呈送仕候

◎醫家處方調劑廣告◎

弊舖には藥劑師をして藥局のみを擔任せしめ醫師の處方箋に係る調劑は極めて懇切丁寧綿密に且つ迅速に調劑可仕尚之に要する藥品は最も純良品を撰び確實に調劑致し候に付御下命有之度奉希上候

●帝國醫科大學附屬醫院
●日本赤十字社病院
●各府縣立病院
●各公私立病院

醫家處方調劑

東京郵便局指定調劑所（電話本局一五一八番）

尾澤純良堂　藥劑師

大西橘三薬局

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●洋酒●鑵詰●洋食料品●食器具類

最上清酒

●世界長 は攝州灘御影小網與八郎氏の吟釀にして數十年來江湖の高評を博し殺菌しあれば腐敗の憂ひ毫もなく衛生上無害有益にして且又壜詰なれば日々に用量を定めて飲用せらるゝを得て攝生家及邦律を守ばる貴婦人間に最も重寶とせらるゝ處なり

壜詰　一升入九拾五錢　四合入三拾五錢　貳合入拾八錢

發兌元　東京日本橋區てりふり町通堀江町四　高橋商店　電話浪花千五百六十一番

各國帝室及ヒ王家御用

ネッスレスミルクフウド

歐洲諸國及本邦名醫ノ讃辭チ辱フセル者ナリ、小兒、病者又平素不消化ニ苦ム者ニ過當ナル最良滋養食物ナリ。最モ盛ニ藥舖洋酒食料品店ニ於テ販賣ス

め　を　ぬ　く　し　がミキ

●色白く艶をだす

松澤ホーサン石鹸

（大形一個廿錢　小形一個十錢）

●近頃にせ物多し御買求の節は商標及松澤名義に御注意

●當市内は勿論到る所賣藥小間物化粧品店に於て販賣す

東京本石町四丁目　芳香藥種問屋　クリーム香水本舖　松澤常吉

巴里の精粹

新荷着

●貴婦人用春夏帽子
●小兒用帽子及上衣
●洋傘及手袋沓下類
●敷布用タオル切地
●精巧舶來人形各種
●其他西洋小間物化粧品

東京市京橋區銀座三丁目　伊勢與　三枝小寶堂　電話新橋一九二七

女生徒募集

規則入用者ハ郵券二錢送レ　入學志願者ハ三月卅一日迄に

女子文藝學舍　麴町區中六番町六番地　電話番町一三二

村井弦齋著

増補註釋 食道樂

春の卷　夏の卷　秋の卷　冬の卷　合本　定價金貳圓　郵税拾五錢　臺灣清韓卅五錢

東京市麴町區有樂町二丁目　報知新聞社出版部

▲東京市京橋區出雲町　新橋堂書店▼

●村井弦齋著　●十二版賣切れんとす

實地經驗 台所重宝記

正價八拾錢　郵税金拾錢

●戰後經營刻下の急務は臺所改良にあり

●發行●東京麴町區有樂町報知新聞社出版部●發賣●東京市銀座大通新橋新橋堂書店

●會員大募集＝三月三十日迄の申込に限り入會金全免す

▲事情があつて高等女學校に入る事の出來ぬ人の爲めに『女學講義録』を發行し僅に二ケ年間に高等女學校程度の教育を完全に正則に授けます▲世間の講義録は乾燥無味で面白味がありません、本會講義録は此點に注意し、諸學科の講義何れも面白く極めて分り易いようにし、且つ有趣有益なる數十頁の雜誌の外に、美くしい家庭小說を毎號附錄とします

▲本會の講師は皆な斯道專門の大家で且つ教育に充分經驗のある方のみです、講義は只親切と云ふ事を主として丁寧懇篤に說いてありますから本會々員は親しく講師の膝下に在りて講義を聞かれると同じ事です▲本會講義録は右に述べた通り最も完全したものでありますが會費は極めて少額で都合一ケ月の遊學費で優に全期を終はる事ができます

新學期開始

大日本淑女學會

高等女學校程度の講義録發行

批評一斑

▲中央新聞評　講義の何れも平易にして親切を極めたれば初學の講習者に最も可也
▲毎日新聞評　米國の近代教授法を參酌せるもの文字平易說明懇篤を盡くせり
▲二六新聞評　高等女學校の全課程を講了すべく各講師者の態度頗る着實なり
▲日々新聞評　講義はすべて平易と親切とを勉め毫も難解の憂なきに留めたり
▲都新聞評　講義平明用意親切なれは數多き女學雜誌中一領域を拓き得可し
▲報知新聞評　講義録多しと雖も實益と趣味と併せ有する事斯くの如きは稀也

上掲の批評を御覧になれば本會講義録の眞價がお分りになりませう

▲本會規則書▼　端書にて申込あれば直に郵送す可し

●東京神田南甲賀町　大日本淑女學會　電話本局三千四番

ムスク香水

（大瓶壹圓●中瓶六拾五錢●小瓶二十五錢）

○本品は芳香の永く保つ點に於て頗る高評なり

東京日本橋區本石町四丁目　ホーサン石鹸本舖　本舖　松澤常吉　（電話本局百四拾五番）

醫院案内

●産科婦人科　芝區明舟町十九番地　櫻井醫院　（電話新橋二三二四）

內科小兒科 特に 呼吸器病　麴町はやぶさ町二十八番地　ドクトル　川瀨元九郎　電話番町八二二番

院長　醫學博士　榊順次郎（毎日午前診察）
副院長　醫學士　久保徳太郎（毎日夕刻診察）

婦人科産科榊病院　東京麴町三番町卅三（電話番町三九五）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京市麴町區錢瓶町（常盤橋內）
日本興業銀行
電話本局（三、三〇〇番・四一〇番・(特)三七番・一〇二番）
一 定期預金 年五分
一 當座預金 日歩七厘
一 特別當座預金 日歩一錢

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話（特）本局六七三番
定期預金 六ヶ月以上 年六分
當座預金 百圓に付日歩 壹錢
特別當座預金 同日歩 壹錢參厘

資本金千八百萬圓
東京京橋區木挽町
株式會社 十五銀行
電話新橋 三〇〇番 一五三〇番 三一九三番
同日本橋區新乘物町
同 日本橋支店
電話浪花 一九〇一番 三二七四番 三五〇八番
一 定期預金 六ヶ月以上年五分
一 當座預金 日歩七厘以下
一 特別當座預金 同 壹錢

東京市日本橋區駿河町壹番地
合名會社 三井銀行本店
同 深川區佐賀町一丁目廿二番地
同 深川支店
一 定期預金 六ヶ月以上 年五分
一 當座預金 日歩 七厘以下
一 小口當座預金 日歩 壹錢
東京市日本橋區箱崎町三丁目一番地
合名會社 三井銀行箱崎倉庫
同 深川區佐賀町一丁目三十二番地
同 深川派出
私設保税倉庫并に普通倉庫に關する一般の業務精々御便利に御取扱可申候

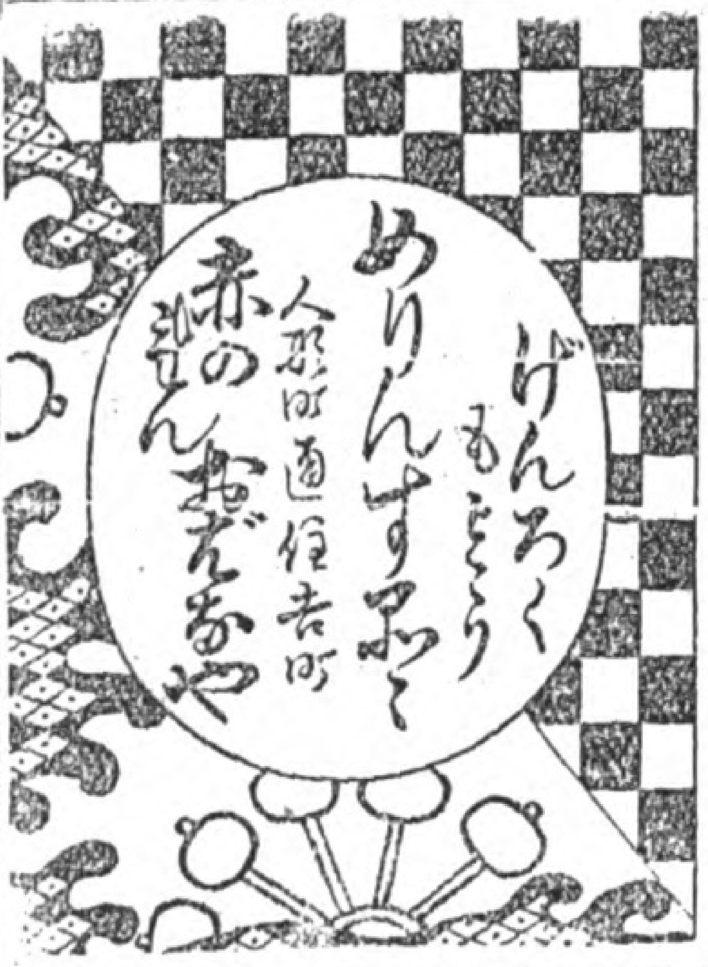
東京市日本橋區小舟町三丁目
株式會社 第三銀行
電話（特）浪花 四四二番 浪花 一五一一番
預金利子
定期預金 六ヶ月以上 年六分
當座預金 百圓に付日歩 壹錢
別口當座 同日歩 壹錢貳厘
全國送金手數料

竈の大王
第五博覽會 三等賞受領
總銅製五徳竈改良
桶箱風呂各種出来有
銅製改良風呂釜各
大小出来有◎
圖面定價表御入用ノ節
郵税貳錢御送アレハ御送呈申候
東京日本橋區通油町十九（電話浪花一四六番）
製造發賣元 銅器物問屋 南部鐵瓶販賣 石川商店
代理店 京都柳馬場 春井喜助

◎牛豚肉販賣及
西洋料理◎
◎品質佳良の肉類廉價に販賣候
◎配達は迅速に且つ正確に致候
◎滋養と風味の西洋料理調製候
◎西洋料理出前は格別相働き候
◎米店は精撰の白米廉價販賣候
◎御注文は電話又は葉書で願候
小石川表町廿二番地 電話番町六五九 西川本店
本郷區駒込東片町五番地 電話下谷二三七一 西川支店
小石川表町十一番地 電話番町一四六一 西川洋食店
小石川表町十八番地 米穀商 西川嘉門

スコット乳菓
小兒ノ發育期ニ用ユレハ其効驗ノ最モ著明ナルヲ證スルモノナリ

説明書ハ横濱郵便局私書函第五十八号
スコツト乳菓部ヘ御申込アレ無代價ニテ進呈ス
代理店横濱市山下町廿八番館
米國貿易商會



禱乃親玉
東京日本橋區長谷川町
卸部 美濃磯本店 電話浪花二八五九番
小賣部
本郷區本郷五丁目 美濃磯本郷支店
淺草區諏訪町 電話下谷一四一五番 美濃磯淺草支店
日本橋區佐内町 美濃磯佐内町支店
神田區小川町 美濃磯神田支店
深川高ばし際 美濃磯支店
芝區新櫻田町 小田商店
牛込區神樂町一丁目 伊澤商店
四谷區傳馬町一丁目 伊澤支店

東京神田錦町參丁目 電本七一五
山口眼科病院
診察午前午後 入院隨時
院長 醫學士 山口秀高

內科一般
東京神田區美土代町三丁目十七番地
午前往診 午後宅診
電話本局貳千九百七十番
板垣亨

◎水原産科婦人病院
○所在神田區猿樂町十二番地（電話本局千八百〇九番）○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立産婆學校の設あり

産科婦人科專門
ドクトル 樋口繁次
歸朝後於本院診療に從事す 診察從前の通
芝愛宕町 新二六四
東京病院

院長 醫學士 鳥山南壽次郎
京橋區鎗屋町十一番地 電話新橋千七百四十六番
鳥山內科院
午前診察 午後往診

小兒病診療
醫學士 內田愼太郎
淺草區福井町貳番地
宅診午前 往診午後
◎電話下谷七一八番

◎産科婦人科
醫學士 伊庭秀榮
◎京橋區南鍋町一の一角
◎朝 八時より正午 ◎夕 五時より八時

神田區西今川町三番地（電話本局三〇一九）
內科病特に腦脊髓神經疾患
院長 ドクトル メヂチーネ 峰秀世
峰內科醫院

◎婦人科 ◎小兒科 專門
東京市麴町區飯田町四丁目九
女醫 鷲山彌生
午前宅診 午後往診

○來四月二日ヨリ第二十四回産科婦人科講習開始ス志望ノ醫士ハ申込マルベシ
○高等産科婦養成所入學志望ノ女生ハ來ル三月三十一日限申込マルベシ
東京日本橋區濱町三丁目七番地
産科婦人科楠田病院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱
京橋區數寄屋橋外 弘報堂
神田千代田町 博報堂
京橋區南紺屋町 一星社
京橋區南鍋町 秀逸堂
日本橋區上槇町 萬年社
日本橋區箱崎町 春風舍
京橋區宗十郎町 正路喜社
京橋區日吉町 帝國通信社
同區彌左衛門町 京華社支店
同區南鍋町 廣告社

洗用ワツセル

◉此ワツセルは油じみ油あか如何なる汚れても揉ずに必ず落る石鹼曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經濟上有利なる日用品であります

◉用法は湯一升に二匁(小杯へ半分餘)の割合にて溶解し洗濯物を凡二時間浸し揉ずに置き後湯又は水にて洗へば自然に脱ますシヤツの如きは(拾貳匁)入一本にて貳百枚は必ず洗へます御婦人の髮は一匁五分を一升餘の湯に溶解してかもじを洗う用に採ずに洗べし左れば玉子で洗た樣になります又食器臺所道具を拭き掃除にも有効です

定價 拾貳匁入 金拾五錢 六匁入 金八錢 袋入二錢

芳香御肌洗粉ワツセル

◉此肌洗粉ワツセルは當時歐米各國貴族社會に流行する芳香類を加味し製造せしものなれば朝夕御使用の方は香氣馥郁として肌持晴々す又おしろいしたを用ひずして御化粧が出來ると妙なり◉

定價最上 金七拾五錢 金貳拾錢 普通 五拾錢 六錢 參拾錢 三錢 拾七錢

東京市京橋區三十間堀三丁目 電話新橋一七一二

英國製ワツセル日本一手販賣元 御肌洗ひこ芳香ワツセル製造元 三友商會

たんせきに淺田飴 空腹にめし

從四位淺田宗伯先生直傳 淺田飴

良藥にして口に甘し

定價 金五拾錢 金參拾錢 金貳拾錢 金拾錢

本品全國到る處の藥店に販賣す

本家 東京神田鍛冶町 大阪北久寶寺町 堀内伊太郎

煉香油 パール

歐米化粧品輸入商 東京濱町一 電浪一一〇 平尾方店 香油ゴールドオイル發賣元

日本第一の大勸業場

(本場の特色)

◎あらゆる物品を最も格安の正札附にて陳列販賣し御買上品は市內無賃で配達致します

◎御進物用品切手を發賣して御望の品と引換ます

東京新橋角 電話新橋一六五三 二三六一 帝國博品館

新小說

第拾壹年第參卷◉三月一日發行

前號より思潮。家庭の二欄を新設し『思潮』欄には當代諸大家の大論文を掲げ『家庭』欄には家庭に關する實益なる記事を網羅す

ふさぎの蟲……二葉亭主人
兄　弟……小川未明
葦中路……泉斜汀
霓　國……田山花袋
新思潮に對する態度……桑木嚴翼
國立劇場の話……上田敏
見神の意義……海老名彈正
活東誅……柳川春葉
京傳が俗生活の半面……關根默庵
夏の海……永井荷風
舞蹈とオペラ……島村抱月
便利に伴ふ危險……後藤宙外
ソネット二篇……岩野泡鳴
家庭談……森鷗外氏母堂談
家庭衞生……石原喜久太郎氏談
禿髮の話……樋口芳太郎氏談
家庭と花草……柳生みどり子
『いき』といふ事……幸田露伴
▲譯叢▲藝苑▲社會等內容豐富

定價壹冊貳拾五錢郵稅二錢
五冊前金郵稅共壹圓五拾
九錢郵券代用一割增

東京日本橋 春陽堂

(ラクダ印)

(麝香石鹼)

ラクダ印麝香石鹼は高貴なる麝香に要すべきスミレの香料を多量に含むが故壹度使用せば其香氣身体は元より手拭タオル、ハンカチーフ及び浴後のゆかたに至る迄うつり香いたし五日間は馥郁としてかほりを失なはざる効力は舶來品にも未だ見ざる一大特點を有す

○定價大形廿錢 小形拾錢 (熱心勉強なる和洋小間物賣藥化粧品店にて必ず販賣せり)

近來類似品有「ラクダ印」と井上に御注意

東京本石町三丁目十八番地芳香藥種問屋 井上太兵衛

大日本女學會

會員募集

◉本會は十年來女學の通信敎授に任じ本會の敎を受けし者既に三萬二千人に及べり

◉本會は伏見若宮妃殿下を名譽總裁に奉戴し鍋島侯爵夫人會長として會務を監督す

◉本會が十年來女子敎育に盡せる事 皇后陛下の御聞に達し特に御歌を賜はりたり

◉本會の講義錄に高等科と簡易科とあり高等科は月謝四十錢簡易科は同二十錢なり

◉今度新學期を開き會員を募集す淑女たち入會申込あれかし

◉東京市麴町區下二番町三十七番地 大日本女學會 電話番町一三三〇

詳細なる會則希望者はハガキにて請求あれ

各女學校御用

附屬品並に造花器械類一式

東京市日本橋區横山町一ノ十六 天野卯兵衛 《電話浪花一六四三番》

營業目錄御入用なれば愛國婦人見てと御記入御申越下され度候

戰勝紀念ピン

銀金の地金に七寶の彩色うるはしく圖案は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠に成れるもの世の紳士淑女たちはその各胸間に飾りて此の千載一遇の皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

定價 純銀製一個 金三十五錢以上 餘は御好み次第迅速調製可仕候

手釦は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠を凝らしあれば世の紳士たちは洋服に飾りて皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

此圖案の外陸海軍連勝にちなめる斬新の意匠を凝らしたる提物澤山出來致居候

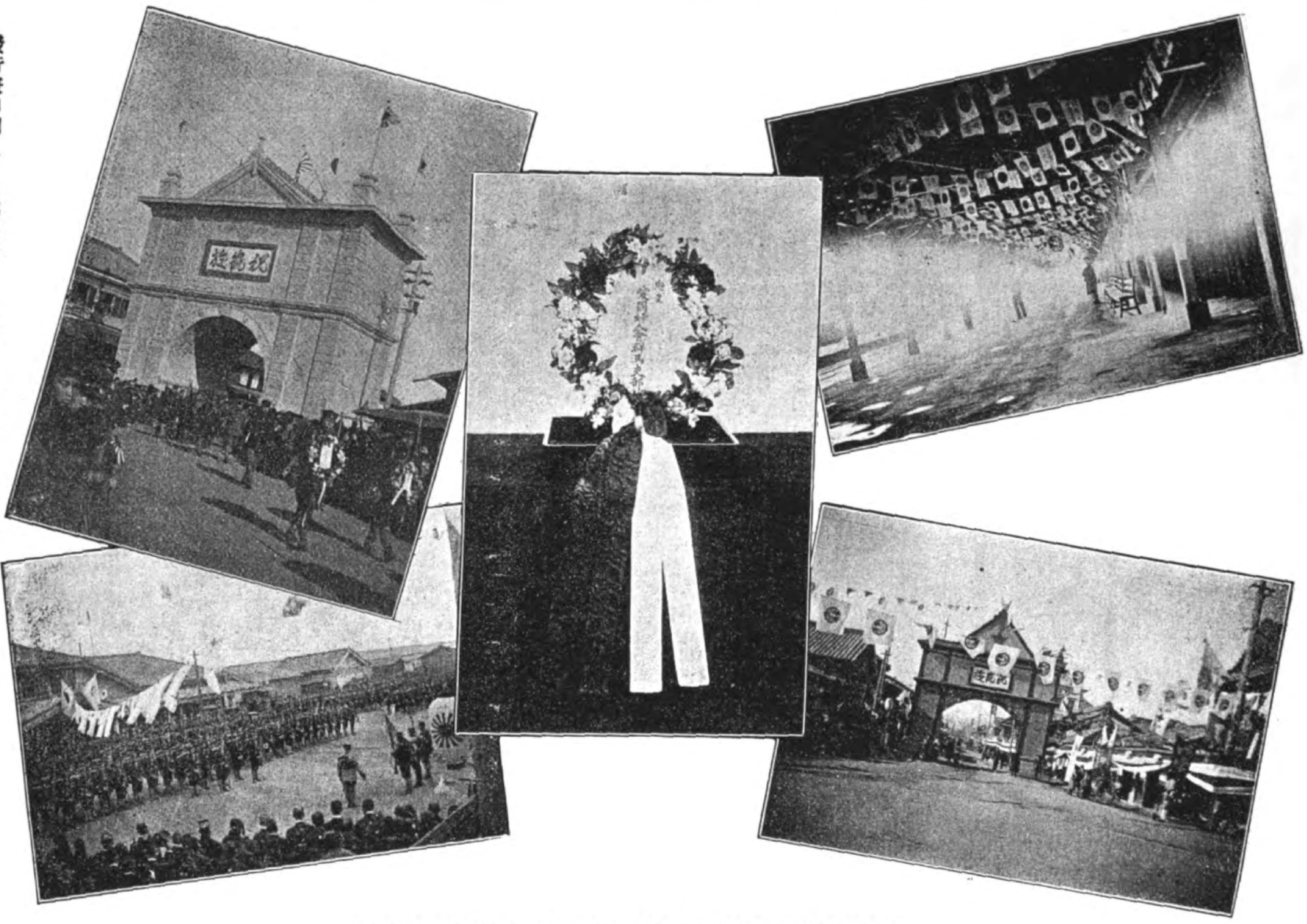
宮內省御用達 玉寶堂 東京市下谷區池の端仲町 電話下谷一特九六五番 一二四四番

明治三十九年三月五日發行(每月五日二十日二回)
發行兼印刷人 山澤俊夫 編輯人 手島益雄 發行所 愛國婦人社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人第九十九號附錄

明治三十九年二月五日發行（每月二回五日廿日）
明治三十五年三月廿七日（第三種郵便物認可）



愛國婦人會群馬支部の凱旋軍隊歡迎

發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 手島益雄　發行所 愛國婦人會內愛國婦人發行所
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN